

# 資 料 編



# 目 次

---

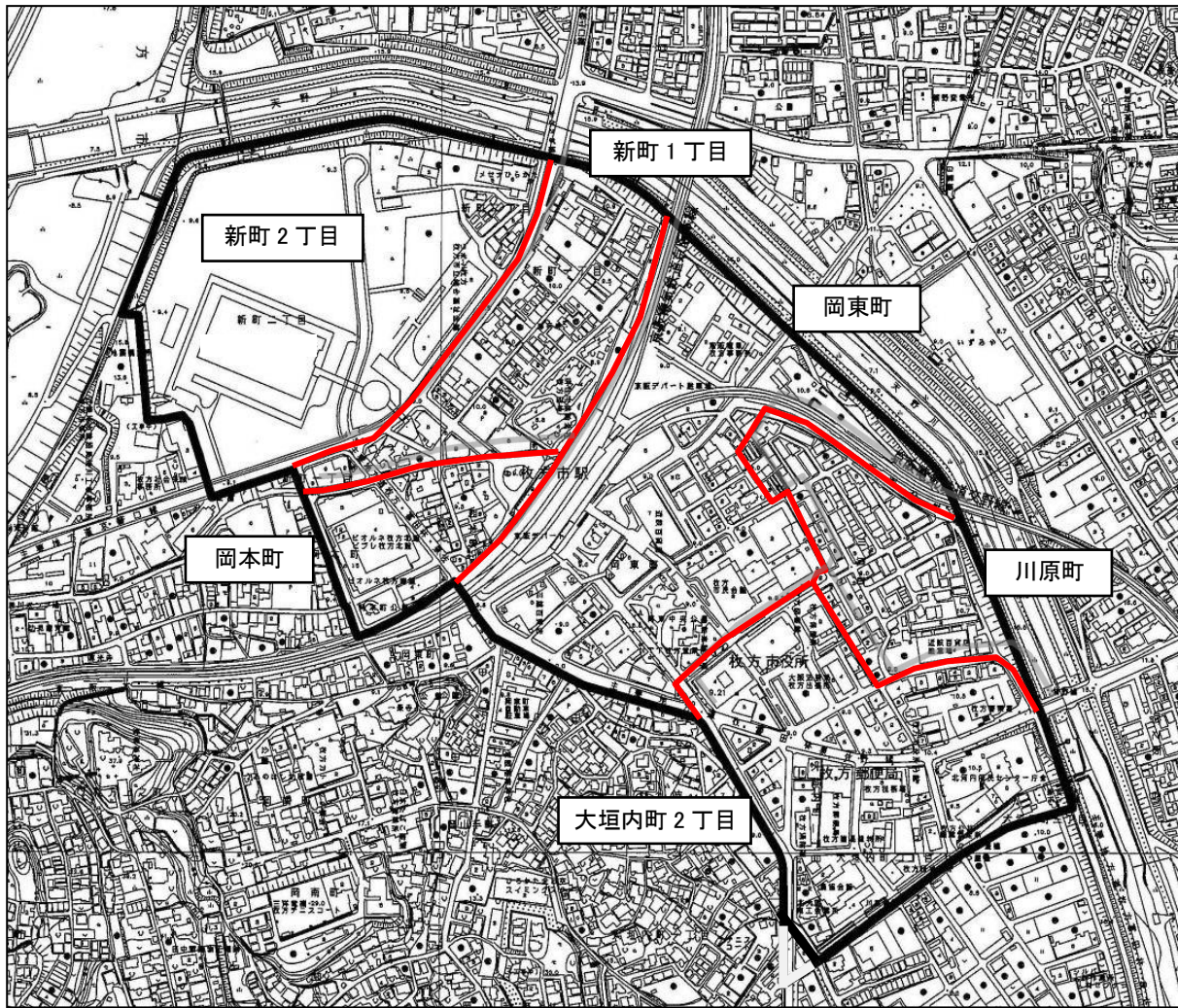
1	基礎資料編	資-1
1	位置（地域の町名）	資-1
2	人口の推移	資-2
3	所得別人口	資-3
4	人口推計	資-4
5	家計調査による支出の推移	資-5
6	製造業事業所数と製造品出荷額等の推移	資-6
7	当該地域周辺の大型商業施設プロット図（店舗面積 10,000 m <sup>2</sup> 以上のもの）	資-7
8	小売業年間商品販売額及び中心性指数の推移	資-8
9	平成 21 年経済センサス—基礎調査	資-9
10	商業統計における推移	資-9
11	市民会館などの利用状況	資-10
12	市役所来庁者調査	資-11
13	鉄道路線網図	資-12
14	鉄道乗降客数の推移（周辺主要駅との比較）	資-12
15	バス路線	資-13
16	バス乗降客数の推移	資-16
17	駐車場の分布	資-17
18	駐輪場の分布	資-18
19	交通事故発生状況	資-18
20	自動車交通量	資-20
21	自転車交通量	資-21
22	歩行者流動調査	資-22
23	駅前広場自家用車・タクシー利用調査	資-23
2	アンケート編	資-25
1	地区内市民及び事業者意識調査	資-25
2	来訪者意識調査	資-28
3	市政モニター意識調査	資-30
3	用語集	資-32
4	ビジョン策定経過	資-37





# 1 基礎資料編

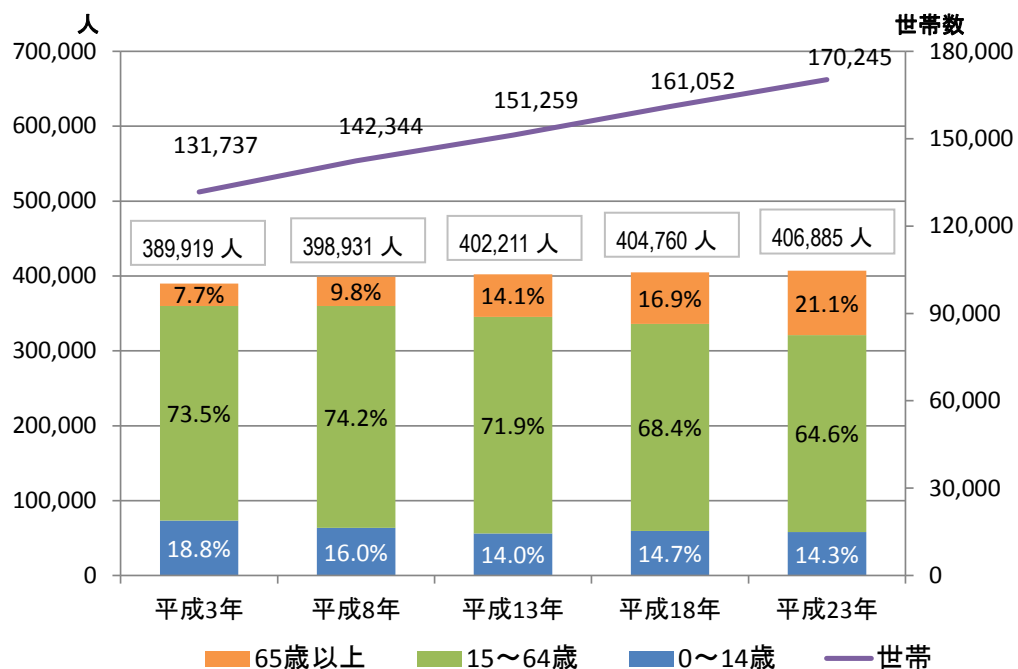
## 1 位置（区域内の町名）



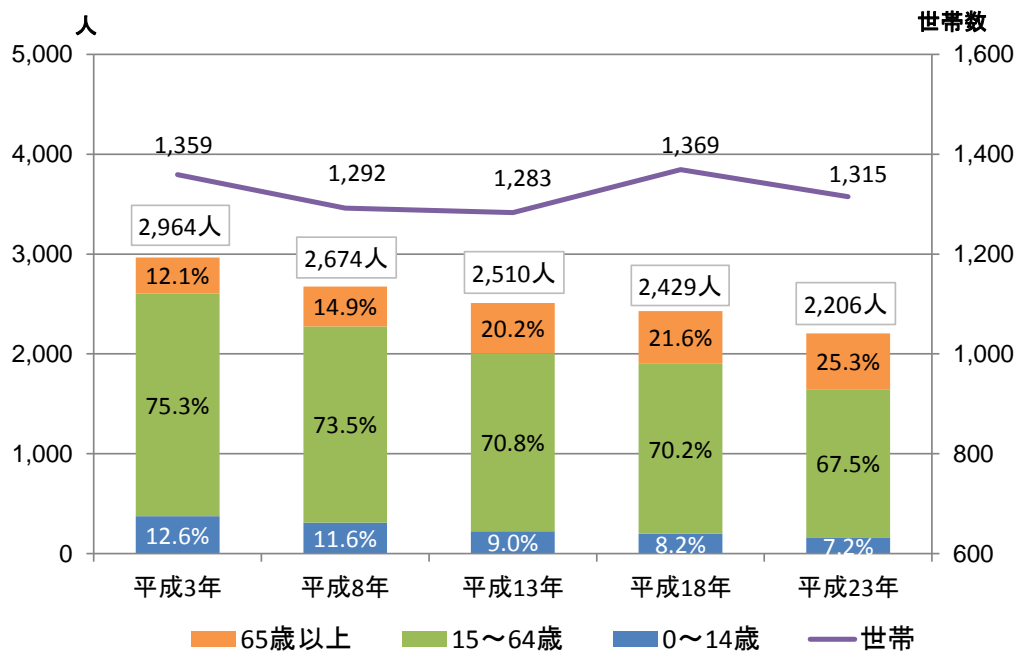
— 対象区域  
— 町界

## 2 人口の推移

### ◆枚方市の人口・世帯数の推移



### ◆当該区域の人口・世帯数の推移



各図とも人口の合計は年齢不詳人数含み、外国人は除く。  
 (各年 10月1日現在：枚方市統計書より)

### 3 所得別人口

表中黄色部分は、階層別割合の府計の数値以上のものを示している。

平成 23 年度 市町村民税所得割賦課標準額※段階別納税義務者数

(単位：人)

区分 市町村名	～10万円	10～100万	100～200万	200～300万	300～400万	400～550万	550～700万	700～ 1,000万	1,000万～	計
枚方市	6,596	54,997	49,327	26,444	13,798	10,578	3,917	2,996	2,327	170,980
大阪市	44,586	366,857	322,659	154,093	71,662	46,057	18,027	15,535	17,800	1,057,276
守口市	2,486	20,378	16,992	8,109	3,829	2,567	831	631	672	56,495
寝屋川市	4,237	34,984	28,488	13,908	6,429	4,426	1,525	1,108	975	96,080
門真市	2,343	18,850	14,827	6,706	2,755	1,662	615	435	491	48,684
高槻市	5,832	50,903	45,201	24,120	12,157	8,720	3,387	2,593	2,178	155,091
茨木市	4,029	36,657	34,224	19,372	10,369	7,777	3,273	2,414	2,041	120,156
摂津市	1,464	12,748	11,198	5,511	2,275	1,467	531	390	372	35,956
四條畷市	986	7,782	6,755	3,337	1,584	1,095	362	263	287	22,451
交野市	1,201	10,345	9,289	5,178	2,799	2,217	726	544	392	32,691
府計	146,694	1,215,042	1,049,029	524,297	259,808	179,849	68,653	56,065	57,385	3,556,822

(単位：%)

区分 市町村名	～10万円	10～100万	100～200万	200～300万	300～400万	400～550万	550～700万	700～ 1,000万	1,000万～	計
枚方市	3.9	32.2	28.8	15.5	8.1	6.2	2.3	1.8	1.4	100.0
大阪市	4.2	34.7	30.5	14.6	6.8	4.4	1.7	1.5	1.7	100.0
守口市	4.4	36.1	30.1	14.4	6.8	4.5	1.5	1.1	1.2	100.0
寝屋川市	4.4	36.4	29.7	14.5	6.7	4.6	1.6	1.2	1.0	100.0
門真市	4.8	38.7	30.5	13.8	5.7	3.4	1.3	0.9	1.0	100.0
高槻市	3.8	32.8	29.1	15.6	7.8	5.6	2.2	1.7	1.4	100.0
茨木市	3.4	30.5	28.5	16.1	8.6	6.5	2.7	2.0	1.7	100.0
摂津市	4.1	35.5	31.1	15.3	6.3	4.1	1.5	1.1	1.0	100.0
四條畷市	4.4	34.7	30.1	14.9	7.1	4.9	1.6	1.2	1.3	100.0
交野市	3.7	31.6	28.4	15.8	8.6	6.8	2.2	1.7	1.2	100.0
府計	4.1	34.2	29.5	14.7	7.3	5.1	1.9	1.6	1.6	100.0

平成 14 年度 市町村民税所得割賦課標準額段階別納税義務者数

(単位：人)

区分 市町村名	～10万	10～120万	120～200万	200～300万	300～400万	400～550万	550～700万	700～ 1,000万	1,000万～	計
枚方市	5,412	50,667	32,946	25,753	15,225	14,916	7,171	4,228	3,363	159,681
大阪市	36,063	361,325	213,556	149,429	71,939	55,060	24,706	17,990	19,038	949,106
守口市	2,107	21,950	12,752	9,219	4,572	3,612	1,442	909	863	57,426
寝屋川市	3,517	35,231	21,298	15,207	7,911	7,111	3,091	1,851	1,427	96,644
門真市	1,930	20,610	11,865	7,959	3,557	2,499	1,015	673	723	50,831
高槻市	5,417	48,772	30,546	24,369	13,524	12,489	5,443	3,689	2,716	146,965
茨木市	3,662	33,653	22,493	17,880	10,496	9,724	4,509	3,088	2,461	107,966
摂津市	1,346	13,064	8,335	6,251	2,962	2,234	909	651	543	36,295
四條畷市	778	7,733	4,931	3,524	1,727	1,676	605	439	381	21,794
交野市	1,064	9,302	6,113	5,036	3,172	3,261	1,514	875	592	30,929
府計	123,290	1,186,448	720,066	526,880	275,978	243,037	109,734	74,195	68,972	3,328,600

(単位：%)

区分 市町村名	～10万	10～120万	120～200万	200～300万	300～400万	400～550万	550～700万	700～ 1,000万	1,000万～	計
枚方市	3.4	31.7	20.6	16.1	9.5	9.3	4.5	2.6	2.1	100.0
大阪市	3.8	38.1	22.5	15.7	7.6	5.8	2.6	1.9	2.0	100.0
守口市	3.7	38.2	22.2	16.1	8.0	6.3	2.5	1.6	1.5	100.0
寝屋川市	3.6	36.5	22.0	15.7	8.2	7.4	3.2	1.9	1.5	100.0
門真市	3.8	40.5	23.3	15.7	7.0	4.9	2.0	1.3	1.4	100.0
高槻市	3.7	33.2	20.8	16.6	9.2	8.5	3.7	2.5	1.8	100.0
茨木市	3.4	31.2	20.8	16.6	9.7	9.0	4.2	2.9	2.3	100.0
摂津市	3.7	36.0	23.0	17.2	8.2	6.2	2.5	1.8	1.5	100.0
四條畷市	3.6	35.5	22.6	16.2	7.9	7.7	2.8	2.0	1.7	100.0
交野市	3.4	30.1	19.8	16.3	10.3	10.5	4.9	2.8	1.9	100.0
府計	3.7	35.7	21.6	15.8	8.3	7.3	3.3	2.2	2.1	100.0

(各年度とも大阪府ホームページ「市町村税の概要」より)



## 4 人口推計

枚方市では、平成 19 年度に総合計画の見直しにあたり、平成 19 年 10 月 1 日の住民基本台帳人口<sup>※</sup>と外国人登録数をベースにコーホート要因法<sup>※</sup>を用い、人口推計を行っている。

市全体では、平成 24 年までは微増を示すものの、平成 29 年から減少に転じるといった結果を示している。

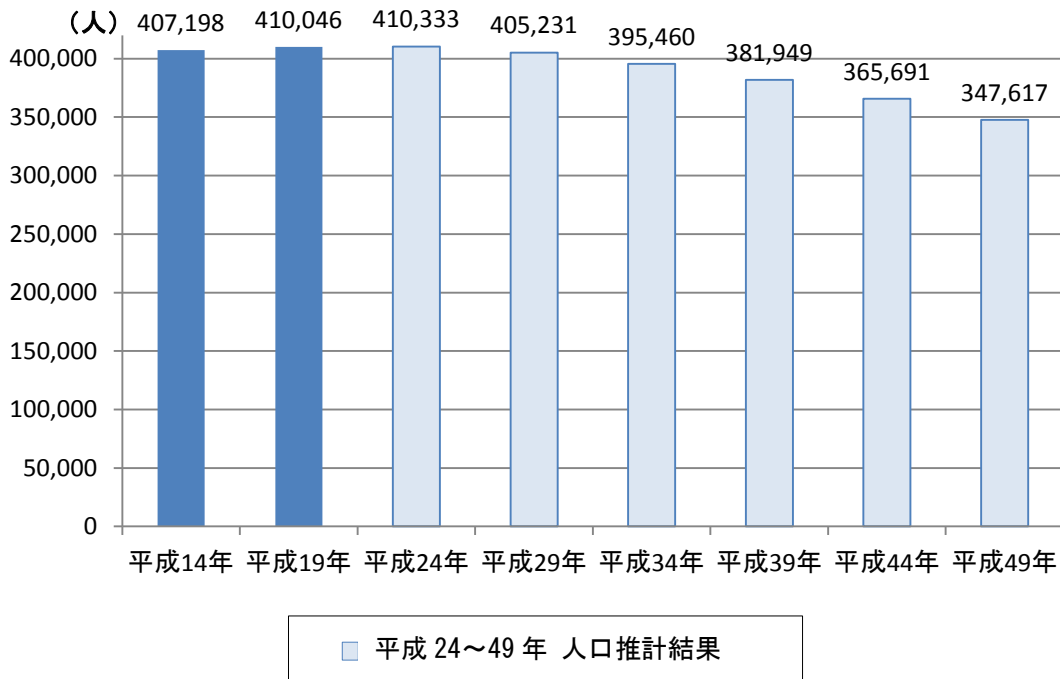
### ◇推計方法

- ・合計特殊出生率<sup>※</sup>：1.22%（国立社会保障・人口問題研究所の公表値の中位値）
- ・将来の人口変動要因：「平成 14 年から 19 年における社会移動<sup>※</sup>の推移を見込まず  
転入・転出が均一で人口バランスが変わらない」

◆表 人口バランスを維持する推計結果 (人)

	平成 24 年 (2012)	平成 29 年 (2017)	平成 34 年 (2022)	平成 39 年 (2027)	平成 44 年 (2032)	平成 49 年 (2037)
推計人口	410,333	405,231	395,460	381,949	365,691	347,617
男性	198,681	195,007	188,980	181,292	172,662	163,617
女性	211,652	210,224	206,480	200,657	193,029	184,000

◆図 人口推計結果



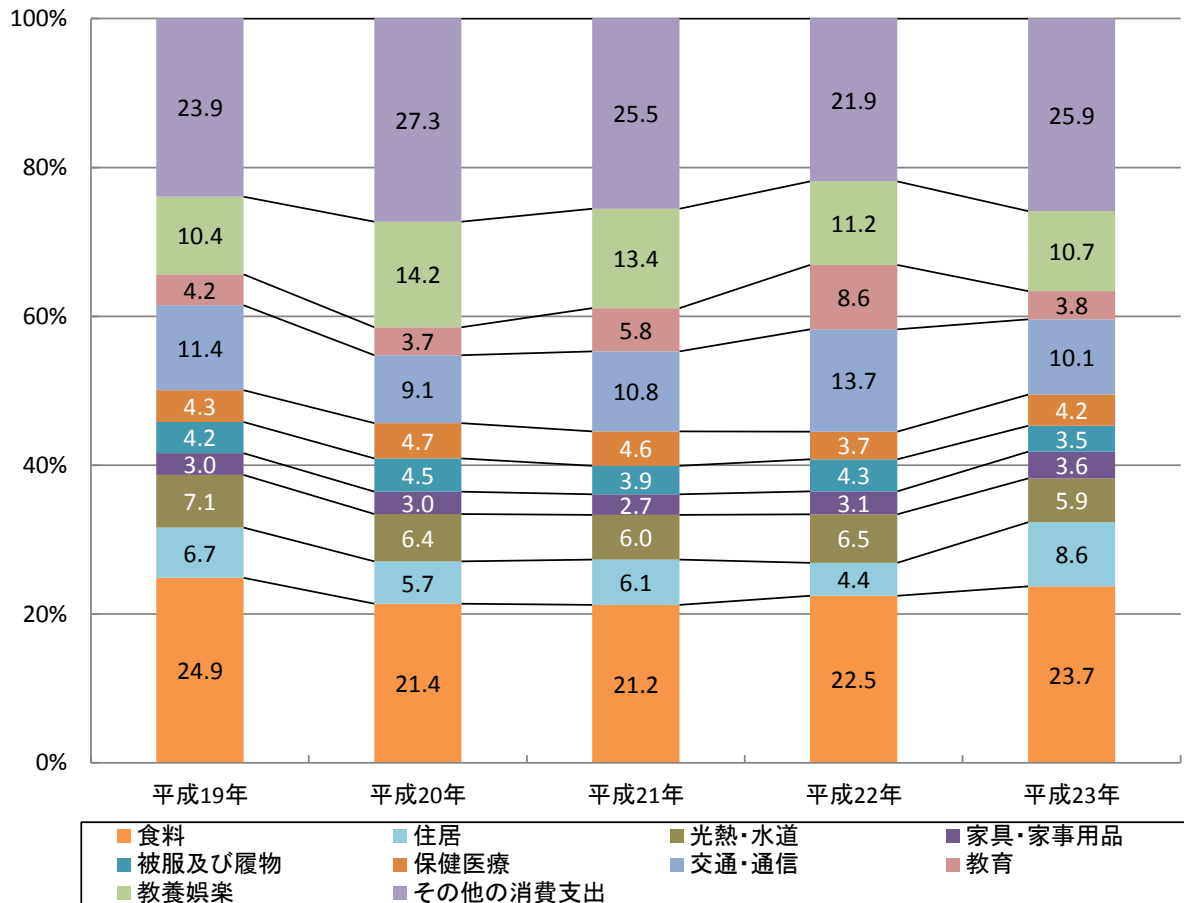
(枚方市 人口推計調査報告書より)

## 5 家計調査による支出の推移

用途分類	H19	H20	H21	H22	H23	H19→H23
二人以上の世帯 集計世帯数	33	34	34	34	35	—
世帯人員(人)	2.91	3.01	3.15	3.11	2.88	-0.03
有業人員(人)	1.11	1.18	1.19	1.20	1.32	0.21
世帯主の年齢(歳)	55.2	59.0	57.8	55.0	60.6	5.40
消費支出	287,971	371,488	391,851	332,888	338,136	117.4
食料	71,625	79,402	83,110	74,795	80,165	111.9
住居	19,437	21,147	23,927	14,695	29,186	150.2
光熱・水道	20,330	23,612	23,580	21,688	19,841	97.6
家具・家事用品	8,497	11,207	10,724	10,277	12,143	142.9
被服及び履物	11,970	16,643	15,137	14,319	11,853	99.0
保健医療	12,309	17,595	18,073	12,381	14,172	115.1
交通・通信	32,901	33,943	42,140	45,752	34,206	104.0
教育	11,973	13,809	22,704	28,764	12,796	106.9
教養娯楽	30,042	52,836	52,381	37,430	36,251	120.7
その他の消費支出	68,887	101,296	100,073	72,788	87,522	127.1
諸雑費	18,927	31,213	25,428	23,672	24,163	127.7
交際費	32,242	36,353	36,885	26,202	35,041	108.7
現物総額	8,543	8,505	10,188	9,262	9,197	107.7

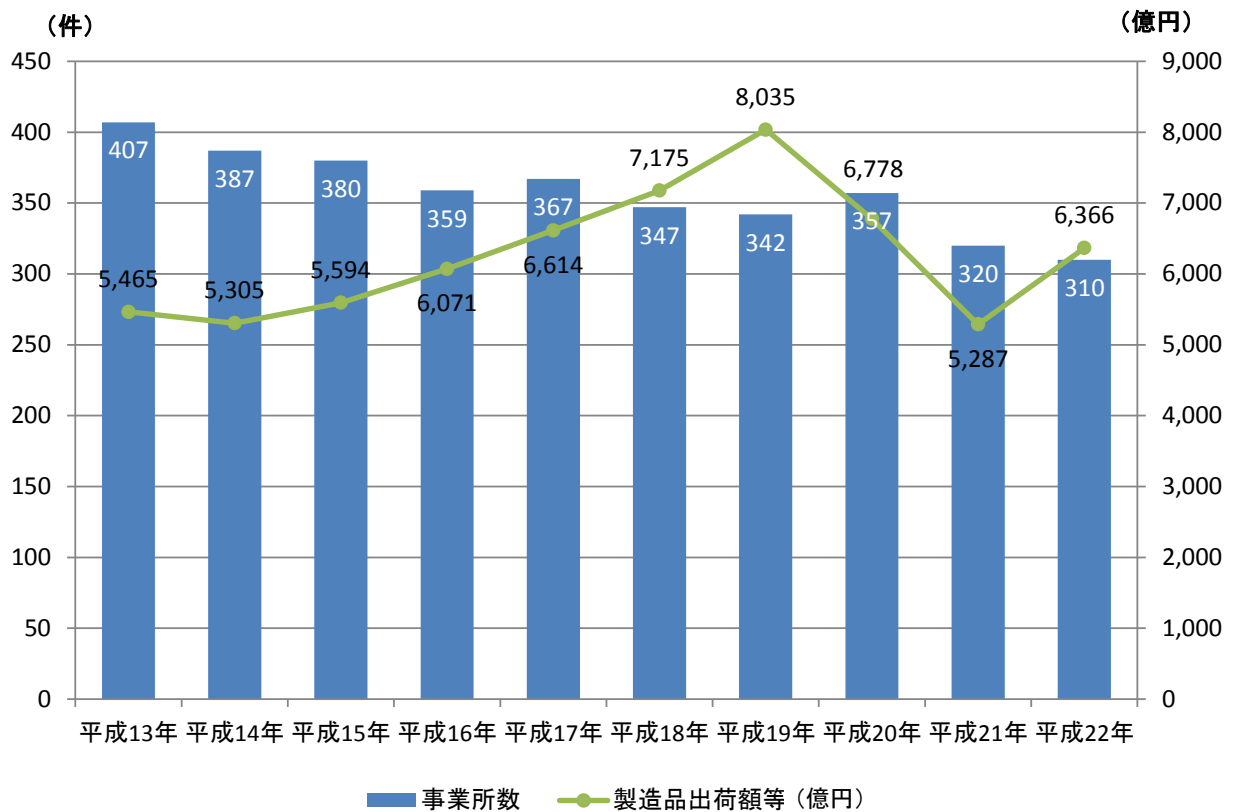
(単位：各年は円、H19→H23は%)

### 消費支出の内訳の推移(枚方市)



(総務省「家計調査」より)

## 6 製造業事業所数と製造品出荷額等の推移

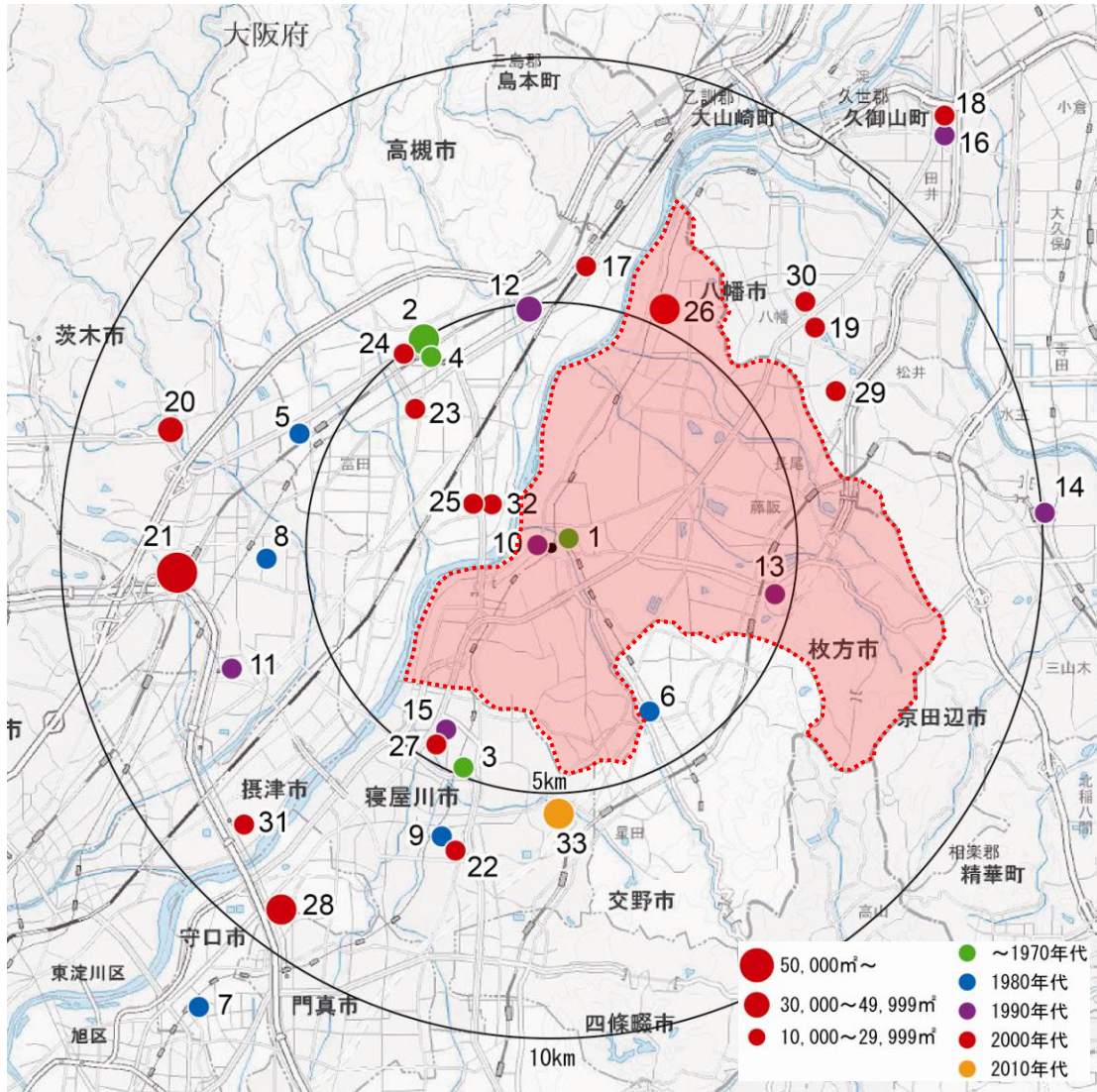


	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
事業所数(件)	407	387	380	359	367
従業者数(人)	19,413	18,814	18,095	18,143	17,552
製造品出荷額等(万円)	54,645,637	53,051,195	55,939,008	60,710,757	66,142,548
事業所当たり 従業者数(人)	47.7	48.6	47.6	50.5	47.8
事業所当たり 製造品出荷額等(万円)	134,264	137,083	147,208	169,111	180,225

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
事業所数(件)	347	342	357	320	310
従業者数(人)	17,558	18,621	18,690	17,680	17,493
製造品出荷額等(万円)	71,749,762	80,353,487	67,778,642	52,869,604	63,660,470
事業所当たり 従業者数(人)	50.6	54.4	52.4	55.3	56.4
事業所当たり 製造品出荷額等(万円)	206,772	234,952	189,856	165,218	205,356

(各年12月末日現在：枚方市統計書より)

7 当該地域周辺の大型商業施設プロット図（店舗面積 10,000 m<sup>2</sup>以上のもの）



No.	店舗名	店舗面積	開設年月	住所
1	イズミヤ枚方店	11,808	1970年7月	枚方市禁野本町1-871
2	西武高槻店、関西スーパー高槻店	33,853	1974年11月	高槻市白梅町4-1
3	イオンモール寝屋川グリーンシティ (イオン寝屋川店)	20,430	1978年3月	寝屋川市緑町5-8
4	松坂屋高槻店	20,642	1979年11月	高槻市紺屋町2-1
5	摂津富田ビル (ダイエー摂津富田店)	10,977	1980年6月	高槻市大畑町13-1
6	ジャンボスクエア交野 (イズミヤ交野店)	13,525	1982年11月	交野市私部西1-33-20
7	守口百貨店ビル (京阪百貨店守口店)	22,806	1985年10月	守口市河原町8-3
8	茨木ショッピングセンター (イオン新茨木店)	12,000	1986年7月	茨木市中津町18-1
9	アドバンスねやがわ1号館・2号館 (イズミヤ寝屋川店)	12,990	1986年11月	寝屋川市早子町23-1
10	ピオルネ (イオン枚方店)	22,509	1990年4月	枚方市岡本町7-1-203
11	ラムー南茨木店	14,300	1991年4月	茨木市沢良宜浜1-16-34
12	イオン高槻店	24,986	1994年3月	高槻市萩之庄3-47-2
13	平和堂アル・プラザ枚方	11,750	1996年9月	枚方市津田元町1-4-1
14	ショッピングシティ田辺 (平和堂アル・プラザ京田辺)	17,801	1997年11月	京田辺市田辺中央5-2-1
15	平和堂アル・プラザ香里園	22,086	1998年2月	寝屋川市日新町5-5
16	イオンモール久御山 (イオン久御山店)	29,279	1998年9月	久御山町森南大内156-1
17	ホームセンターコーナン高槻上牧店	14,553	2000年3月	高槻市上牧駅前町125

No.	店舗名	店舗面積	開設年月	住所
18	イオンタウン久御山 (ニトリ久御山店)	16,500	2000年10月	久御山町森南大内337
19	ホームセンターコーナン 八幡一ノ坪店	11,113	2000年12月	八幡市八幡一ノ坪133
20	平和堂アル・プラザ茨木	19,521	2000年12月	茨木市上郡2-12-8
21	イオン茨木ショッピングセンター (イオン茨木店)	50,690	2001年1月	茨木市松ヶ本町8-30
22	寝屋川デポマート (ライフ寝屋川店)	10,878	2002年4月	寝屋川市昭栄町18-1
23	高槻城西ショッピングセンター (ホームセンターコーナン高槻城西店)	14,310	2003年3月	高槻市城西町6-28
24	アクト・アモール (平和堂アル・プラザ高槻)	13,820	2004年2月	高槻市芥川町1-2-C
25	ヤマダ電機テックランド高槻大塚本店、 ニトリ高槻店	10,800	2004年12月	高槻市大塚町5-2-6
26	くずはモール本館	35,000	2005年4月	枚方市楠葉花園町15-1
27	島忠ホームズ寝屋川店	26,159	2005年7月	寝屋川市日新町3-15
28	イオンモール大日 (イオン大日店)	44,000	2006年9月	守口市大日東町1-18
29	ホームセンタームサシ京都八幡店	29,970	2005年10月	八幡市欽明台北3-1
30	スーパーセンターイズミヤ八幡店	13,000	2005年11月	八幡市八幡一ノ坪23-1
31	ホームセンターコーナン摂津鳥飼西店、 ラムー摂津店	12,546	2007年3月	摂津市鳥飼西5-5-5
32	カインズモール高槻店	10,919	2008年10月	高槻市大塚町1-9-3
33	ピバモール寝屋川	37,208	2011年6月	寝屋川市寝屋南2-22-1

(全国小売店総覧 2013 : 東洋経済新報社)

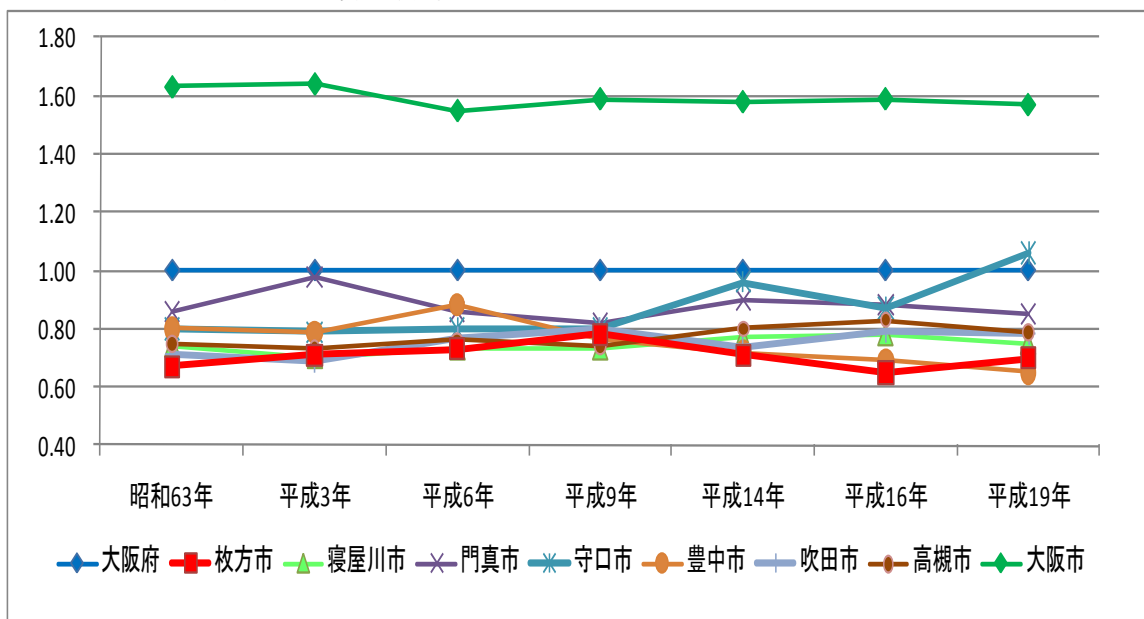
## 8 小売業年間商品販売額及び中心性指数の推移

単位…年間商品販売額: 万円、人口: 人、割合: 万円/人

		昭和63年	平成3年	平成6年	平成9年	平成14年	平成16年	平成19年
大阪府	年間販売額	919,765,900	1,144,768,400	1,076,364,000	1,091,475,800	964,937,700	957,996,700	965,054,100
	人口	8,754,226	8,729,138	8,714,763	8,823,311	8,813,616	8,818,874	8,828,402
	割合	105.065	131.143	123.510	123.704	109.483	108.630	109.312
	中心性指数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
枚方市	年間販売額	27,653,200	36,671,800	35,577,000	38,723,900	31,302,500	28,628,849	31,022,900
	人口	390,134	392,304	396,659	403,151	403,749	404,746	405,764
	割合	70.881	93.478	89.692	96.053	77.530	70.733	76.456
	中心性指数	0.67	0.71	0.73	0.78	0.71	0.65	0.70
寝屋川市	年間販売額	20,066,800	23,644,700	23,003,500	23,177,300	20,845,100	20,677,800	19,715,600
	人口	257,995	256,936	256,574	257,315	247,587	244,137	239,178
	割合	77.780	92.026	89.656	90.074	84.193	84.698	82.431
	中心性指数	0.74	0.70	0.73	0.73	0.77	0.78	0.75
門真市	年間販売額	12,780,300	18,195,600	14,859,500	14,040,500	13,220,700	12,695,100	12,055,700
	人口	142,010	141,970	140,409	138,953	133,800	132,753	130,208
	割合	89.996	128.165	105.830	101.045	98.809	95.629	92.588
	中心性指数	0.86	0.98	0.86	0.82	0.90	0.88	0.85
守口市	年間販売額	13,382,900	16,372,900	15,335,000	15,347,500	15,756,100	14,063,500	16,935,900
	人口	158,291	157,074	155,946	155,941	149,971	148,091	146,470
	割合	84.546	104.237	98.335	98.419	105.061	94.965	115.627
	中心性指数	0.80	0.79	0.80	0.80	0.96	0.87	1.06
豊中市	年間販売額	34,610,400	42,453,400	43,178,200	37,272,600	30,481,500	28,956,800	27,482,600
	人口	413,277	407,670	396,495	396,689	388,916	386,657	387,018
	割合	83.746	104.137	108.900	93.959	78.376	74.890	71.011
	中心性指数	0.80	0.79	0.88	0.76	0.72	0.69	0.65
吹田市	年間販売額	25,991,800	31,070,200	31,744,100	34,087,000	28,484,400	30,223,200	30,226,300
	人口	349,850	343,007	334,931	345,750	351,234	353,813	354,585
	割合	74.294	90.582	94.778	98.589	81.098	85.421	85.244
	中心性指数	0.71	0.69	0.77	0.80	0.74	0.79	0.78
高槻市	年間販売額	28,268,700	34,374,400	33,591,200	33,275,300	30,813,100	31,816,000	30,760,800
	人口	357,843	360,529	360,146	361,747	353,160	351,694	354,226
	割合	78.997	95.344	93.271	91.985	87.250	90.465	86.839
	中心性指数	0.75	0.73	0.76	0.74	0.80	0.83	0.79
大阪市	年間販売額	453,411,900	560,525,300	497,028,400	509,463,200	452,427,100	454,204,200	454,788,300
	人口	2,646,399	2,613,199	2,590,270	2,595,674	2,614,875	2,624,775	2,643,805
	割合	171.332	214.498	191.883	196.274	173.021	173.045	172.020
	中心性指数	1.63	1.64	1.55	1.59	1.58	1.59	1.57

\* 年間販売額＝年間商品販売額、割合＝人口一人当たりの年間商品販売額

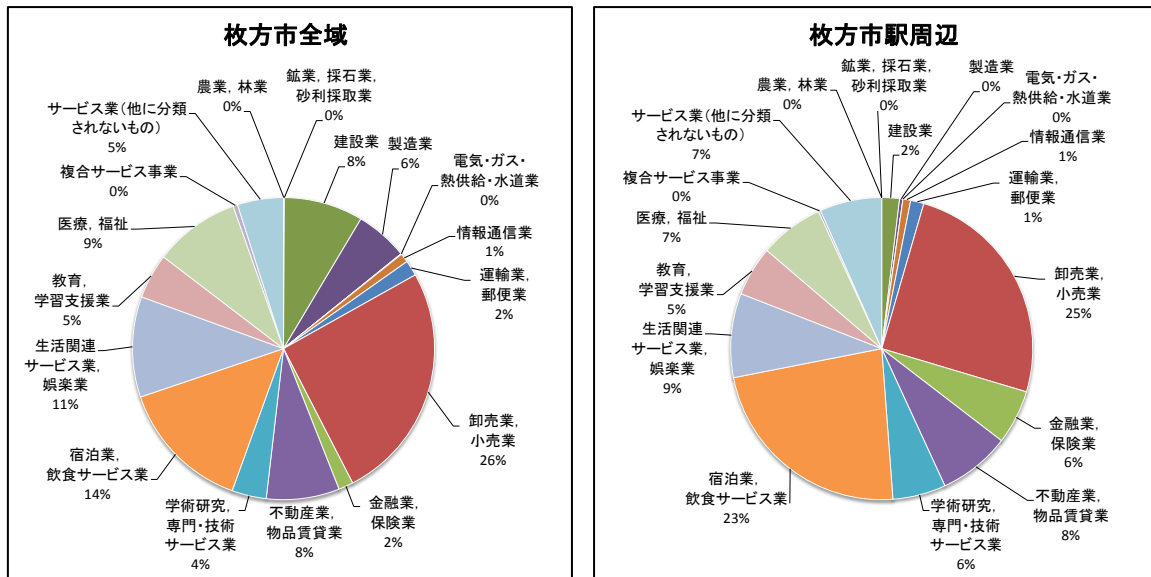
\* 中心性指数とは、大阪府全体を1とした小売業における地元購買吸引力であり、1に近いほど市内の消費者が市内の小売店で買い物をしていくことになる。1以上であると市外の消費者が買い物に来ていることになる。



(枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務(平成22年度)より)



## 9 平成 21 年経済センサス※—基礎調査



(総務省ホームページ「経済センサス」より)

## 10 商業統計における推移

### 枚方市全域

	H9	H14	H16	H19
商業集積地区数	41	25	25	25
A: 事業所数(店)	1,698	757	735	749
B: 従業者数(人)	10,795	6,329	6,113	6,368
C: 年間販売額(百万円)	258,719	115,656	102,153	112,849
D: 売場面積(m <sup>2</sup> )	199,743	122,948	116,627	134,341
1店当たり従業員数(B/A)	6.4	8.4	8.3	8.5
1店当たり年間販売額(C/A)	152	153	139	151
m <sup>2</sup> 当たり年間販売額(C/D)	1.30	0.94	0.88	0.84

### 枚方市駅周辺

	H9	H14	H16	H19
A: 事業所数(店)	208	174	181	192
B: 従業者数(人)	1,982	2,075	2,124	1,802
C: 年間販売額(百万円)	67,684	48,074	48,923	40,252
D: 売場面積(m <sup>2</sup> )	55,323	47,286	53,761	46,750
1店当たり従業員数(B/A)	9.5	11.9	11.7	9.4
1店当たり年間販売額(C/A)	325	276	270	210
m <sup>2</sup> 当たり年間販売額(C/D)	1.22	1.02	0.91	0.86

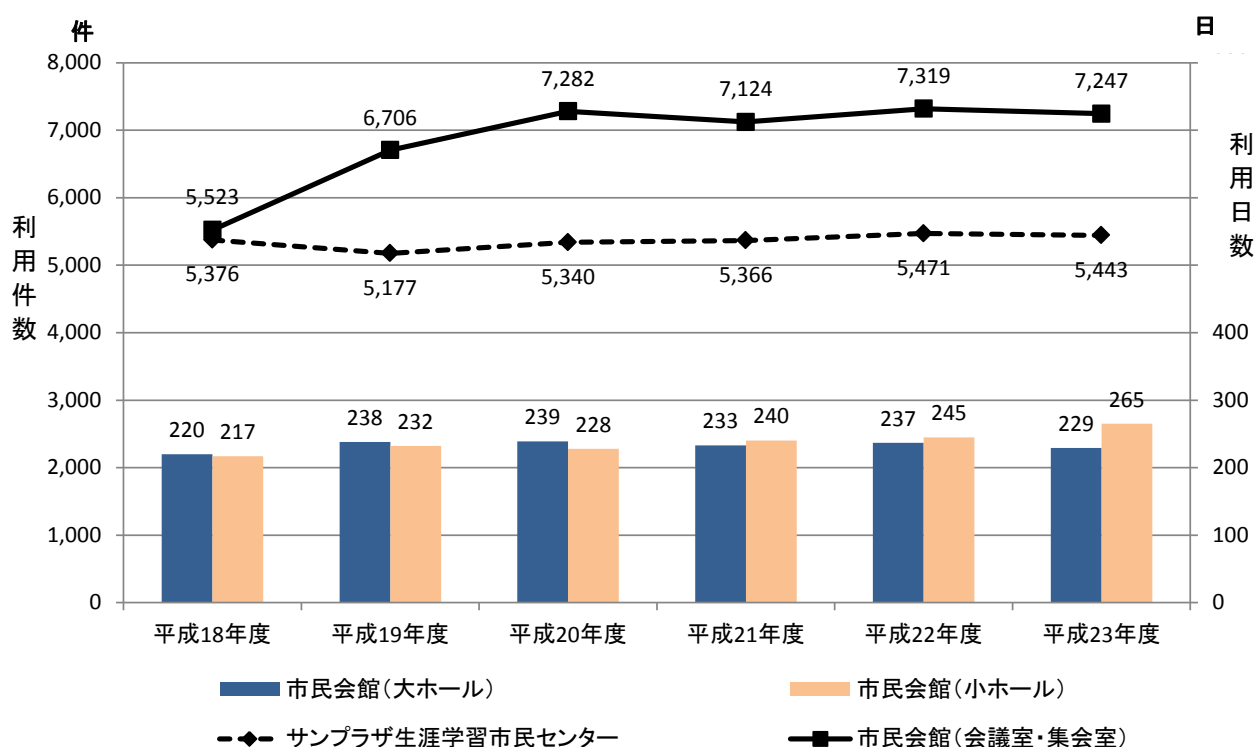
○枚方市駅周辺の商業集積地区：

- ・ 枚方市駅南
- ・ 枚方市駅北
- ・ 枚方市駅高架下
- ・ 川原町
- ・ ビオルネ
- ・ 岡本町中央

(データは各年商業統計より)

## 11 市民会館などの利用状況

図：公共施設利用状況



(各年度 枚方市事務概要より)

表：ホール収容人数別稼働率（平成22年度）

収容人数	稼働率（平均）（%）		枚方市稼働率（%）
	近畿地区	全国	
499名以下	58.6	65.1	約78.0
500～999名	48.2	51.8	—
1,000～1,499名	47.1	51.1	約75.5
1,500～1,999名	48.7	62.0	—
2,000名以上	64.6	67.5	—

資料：社団法人全国公立文化施設協会、第10回公立文化施設結果（平成24年3月）より

稼働率：開館日数を基準とした割合

\*1：大ホール収容人数…1,448名

\*2：小ホール収容人数…260名

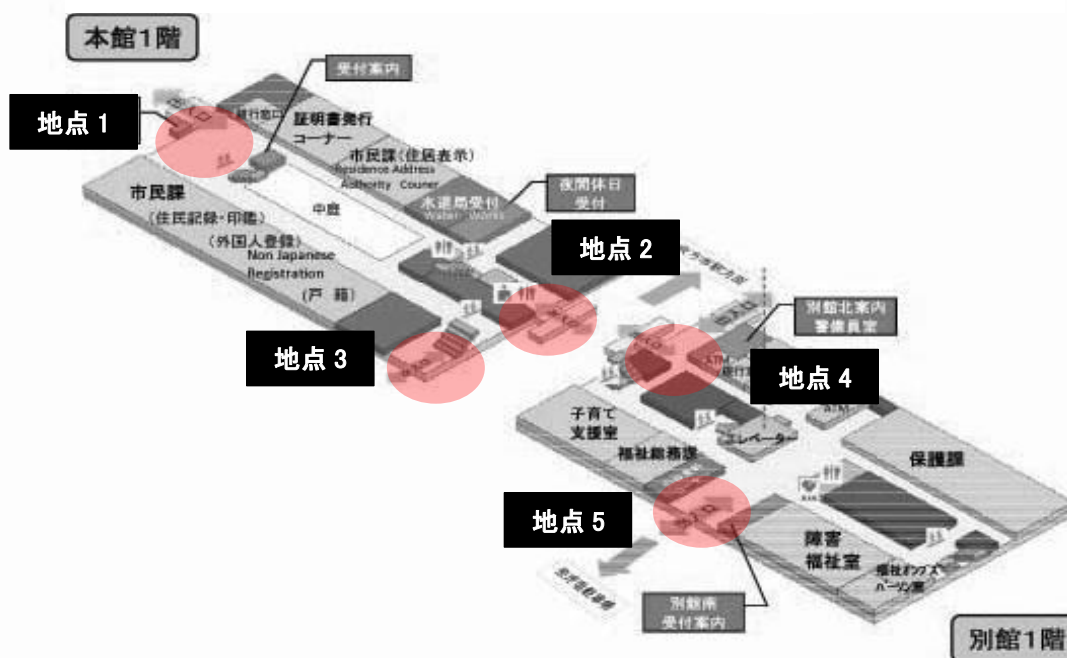
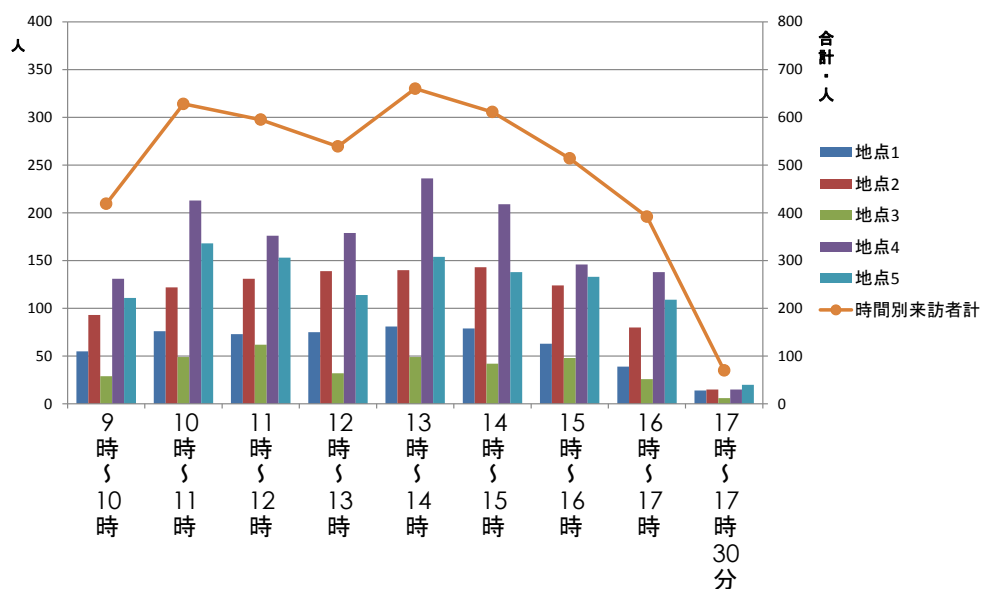
## 12 市役所来庁者調査

表:市役所時間別来訪者調査結果

(平成 23 年 1 月 28 日:金曜日調査)

時間帯	地点 1	地点 2	地点 3	地点 4	地点 5	合計
9 時～10 時	55	93	29	131	111	419
10 時～11 時	76	122	49	213	168	628
11 時～12 時	73	131	62	176	153	595
12 時～13 時	75	139	32	179	114	539
13 時～14 時	81	140	49	236	154	660
14 時～15 時	79	143	42	209	138	611
15 時～16 時	63	124	48	146	133	514
16 時～17 時	39	80	26	138	109	392
17 時～17 時 30 分	14	15	6	15	20	70
合計	555	987	343	1,443	1,100	4,428

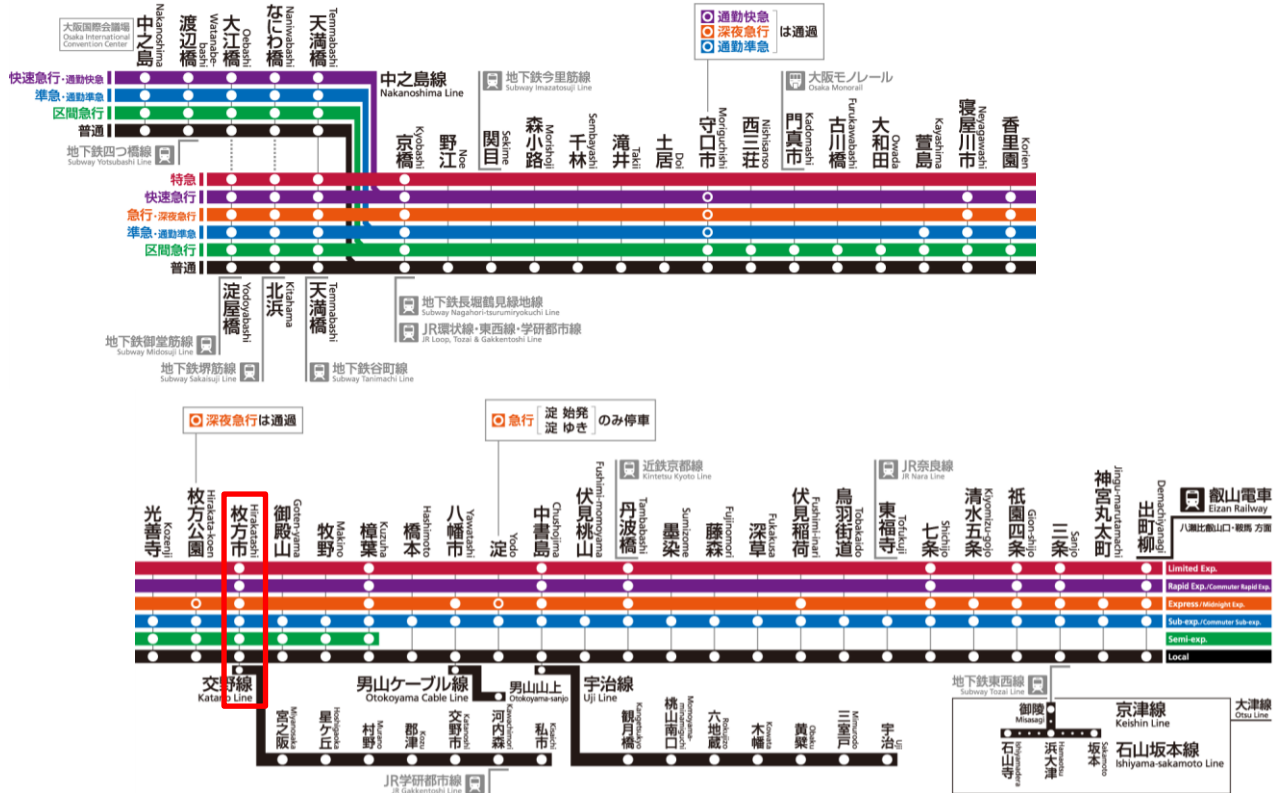
図:市役所時間別来訪者の状況



(枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務 (平成 22 年度) より)



### 13 鉄道路線網図



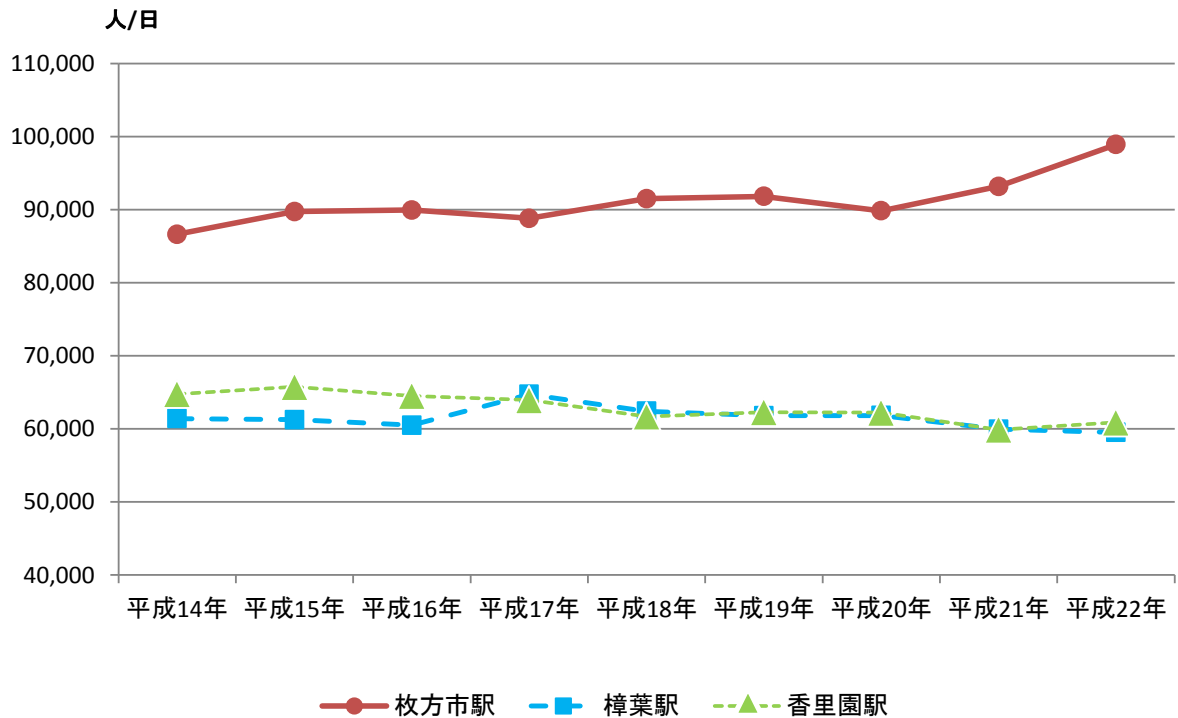
(平成 25 年 3 月時点：京阪電鉄ホームページより)

### 14 鉄道乗降客数の推移（周辺主要駅との比較）

単位：人／1日

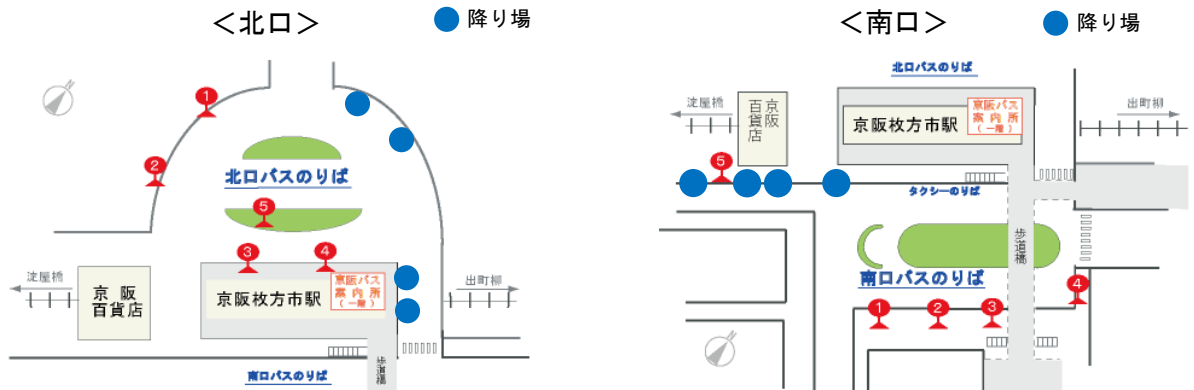
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
枚方市駅	86,647	89,755	89,964	88,822	91,512	91,824	89,849	93,198	98,919
樟葉駅	61,411	61,268	60,504	64,722	62,412	61,802	61,823	59,970	59,511
香里園駅	64,781	65,760	64,509	63,951	61,709	62,295	62,230	59,900	60,893

資料：京阪電気鉄道株式会社



## 15 バス路線

表：京阪路線バス電車の行き先と乗り場

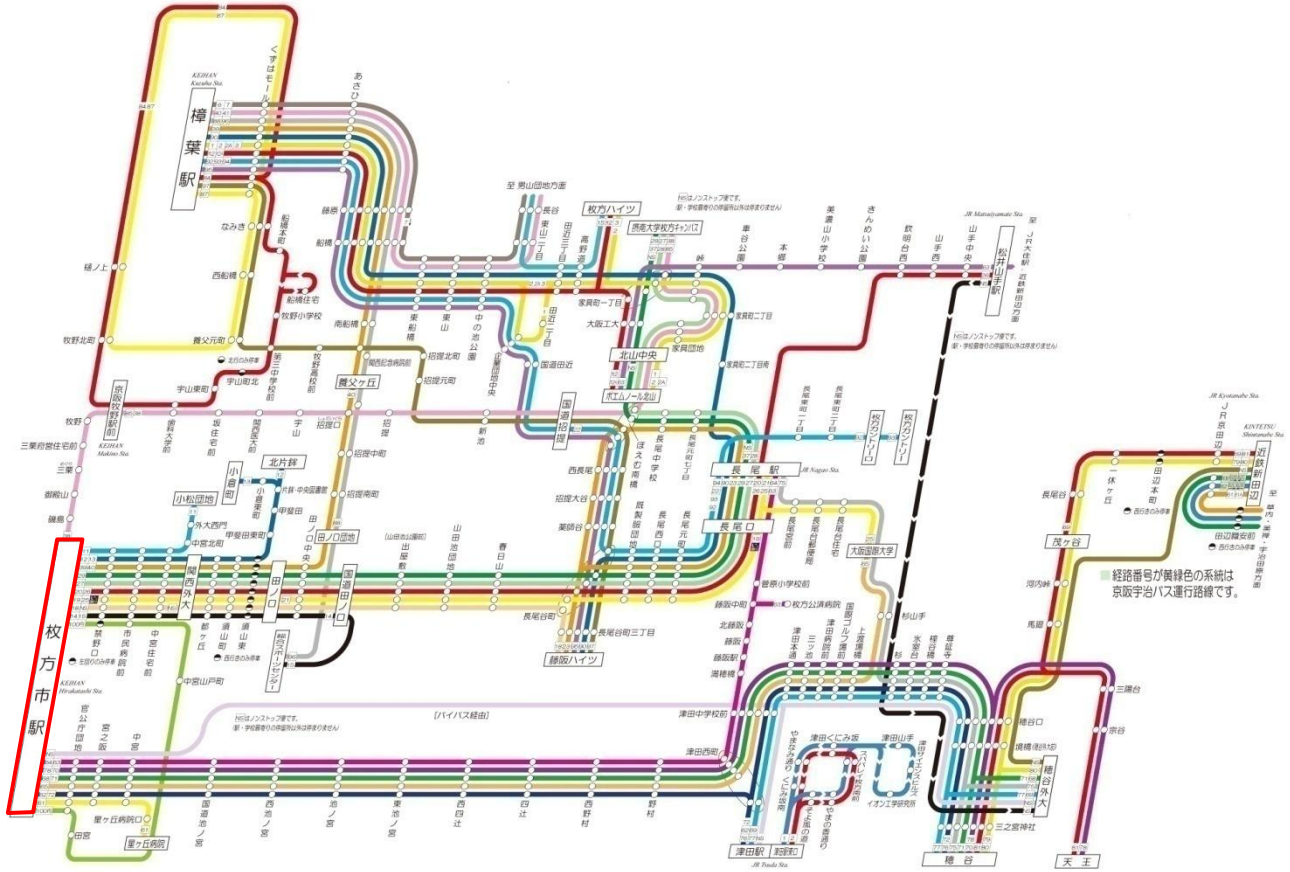


のりば	系統	行き先
①	2	阪急高槻
	1	JR高槻
	1A	JR高槻(阪急高槻、市役所前から)
②	3	阪急茨木(玉川橋団地から)
	3	JR茨木(玉川橋団地、阪急茨木から)
	7	JR茨木(玉川橋団地、白川三丁目、阪急茨木から)
	16	伊加賀小学校(出口二丁目から)
③	11	小松団地
	12	北片鋒(片鋒、中央図書館から)
	13	小倉町(片鋒、中央図書館から)
	直通	ノストップ 関西外大
④	14	国道田ノ口
	15	総合スポーツセンター
	18	藤阪ハイイツ
	19	長尾口
	20	長尾駅
	25	大阪国際大学(長尾駅から)
	26	松井山手駅(長尾駅から)
	27	摂南大学枚方キャンパス(長尾駅、家具団地から)
	29	摂南大学枚方キャンパス(長尾駅、大阪工大から)
	39	樟葉駅(義父ヶ丘から)
	40	義父ヶ丘
⑤	38	摂南大学枚方キャンパス(京阪枚野駅前、家具団地から)
	高速バス	渋谷、新宿 淡路、徳島

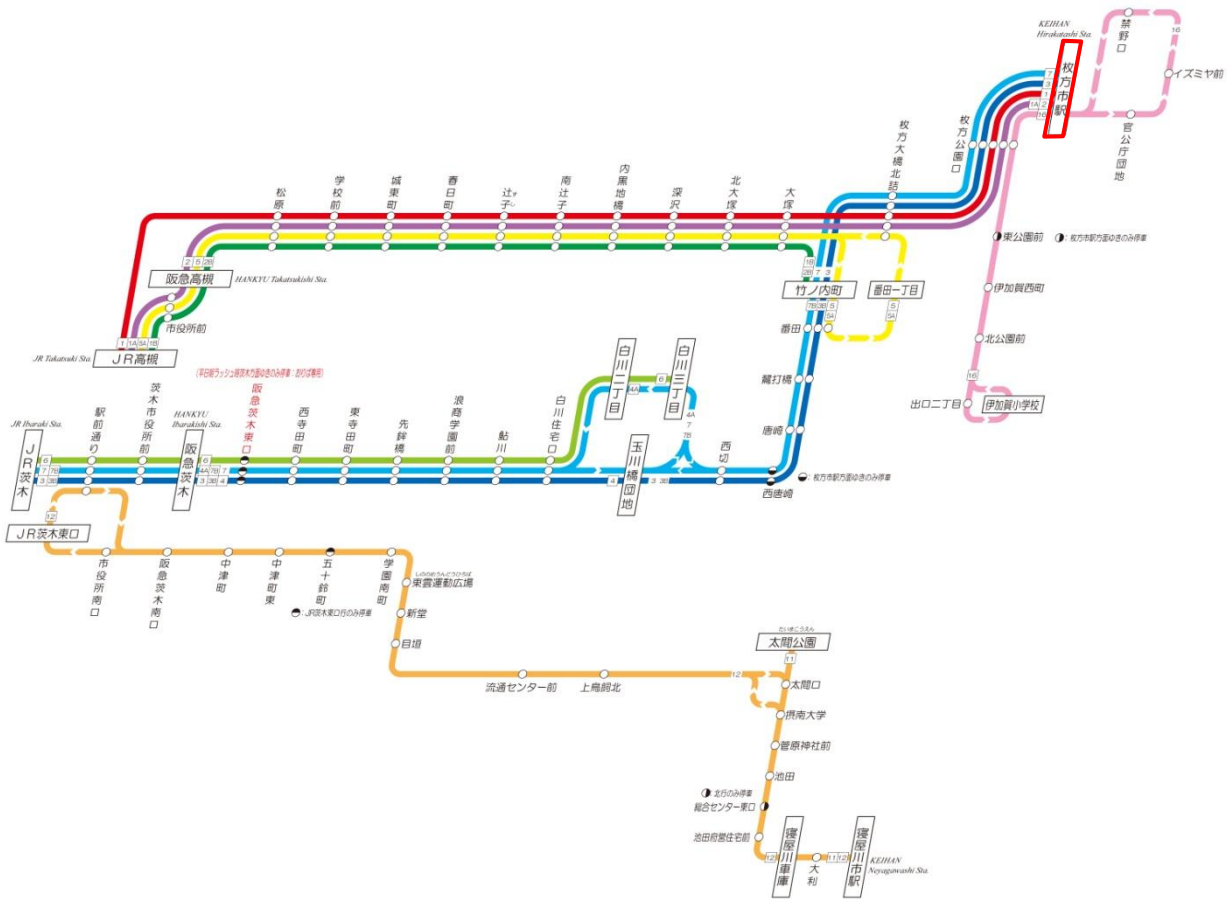
のりば	系統	行き先
①	62	津田駅
	63	長尾駅(津田中学校前、枚方公済病院から)
	64	長尾駅(津田中学校前から)
	65	大阪国際大学(津田中学校前から)
	68	穂谷外大(津田中学校前、尊延寺から)
	70	穂谷(津田中学校前、尊延寺から)
	71	穂谷(津田中学校前、尊延寺、穂谷外大から)
	72	穂谷(津田駅、津田中学校前、尊延寺から)
78	天王(津田中学校前、尊延寺、穂谷から)	
②	1	京阪香里園(藤田川、新香里から)
	2	香里団地循環バス (枚方市駅→藤田川→新香里→五本松→枚方市駅)
	3	藤田川(五本松、公孫樹通、新香里から)
	4	枚方公園駅前(五本松、公孫樹通、新香里から)
	5	枚方公園駅前(五本松から)
	6	枚方公園駅前(藤田川、新香里、五本松から)
	8	枚方公園駅前(藤田川、新香里、公孫樹通、五本松から)
	9A	京阪香里園(藤田川、高田から)
	10	釈尊寺団地
③	43	星田駅(藤田川、高田、京阪交野市駅から)
	43	交野車庫(藤田川、高田、京阪交野市駅から)
	43A	星田駅(藤田川、高田、星田北六丁目から)
	43A	交野車庫(藤田川、高田、星田北六丁目から)
	ろ	枚方公園駅前(山之上五丁目から)
④	16	枚方市駅北口(イズミヤ前、禁野口から)
	61	星ヶ丘病院
	直通	ノストップ 穂谷外大
	直通	ノストップ 穂谷外大(津田駅停車)
	100円バス	左回り循環 (枚方市駅→星ヶ丘病院→市民病院前→枚方市駅)
100円バス	右回り循環 (枚方市駅→市民病院前→星ヶ丘病院→枚方市駅)	
⑤	1A	関西医大枚方病院

(平成24年12月時点：京阪バスホームページより  
ただし、上図 ● 降り場 については追記)

図：京阪路線バス系統図



(平成 24 年 12 月時点：京阪バスホームページより)



(平成 24 年 12 月時点：京阪バスホームページより)

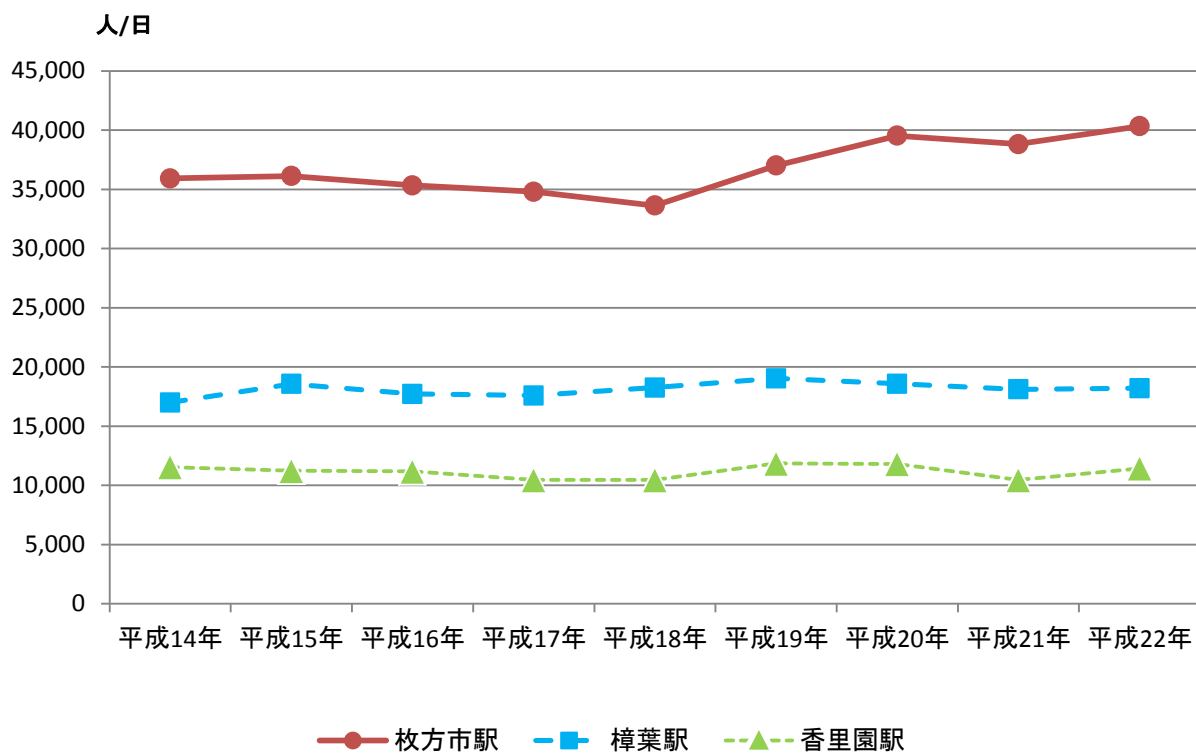


## 16 バス乗降客数の推移

単位：平均人／1日

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
枚方市駅	35,933	36,130	35,339	34,808	33,633	37,018	39,527	38,821	40,342
樟葉駅	17,003	18,565	17,719	17,584	18,256	19,038	18,577	18,114	18,212
香里園駅	11,546	11,240	11,187	10,457	10,465	11,858	11,806	10,461	11,431

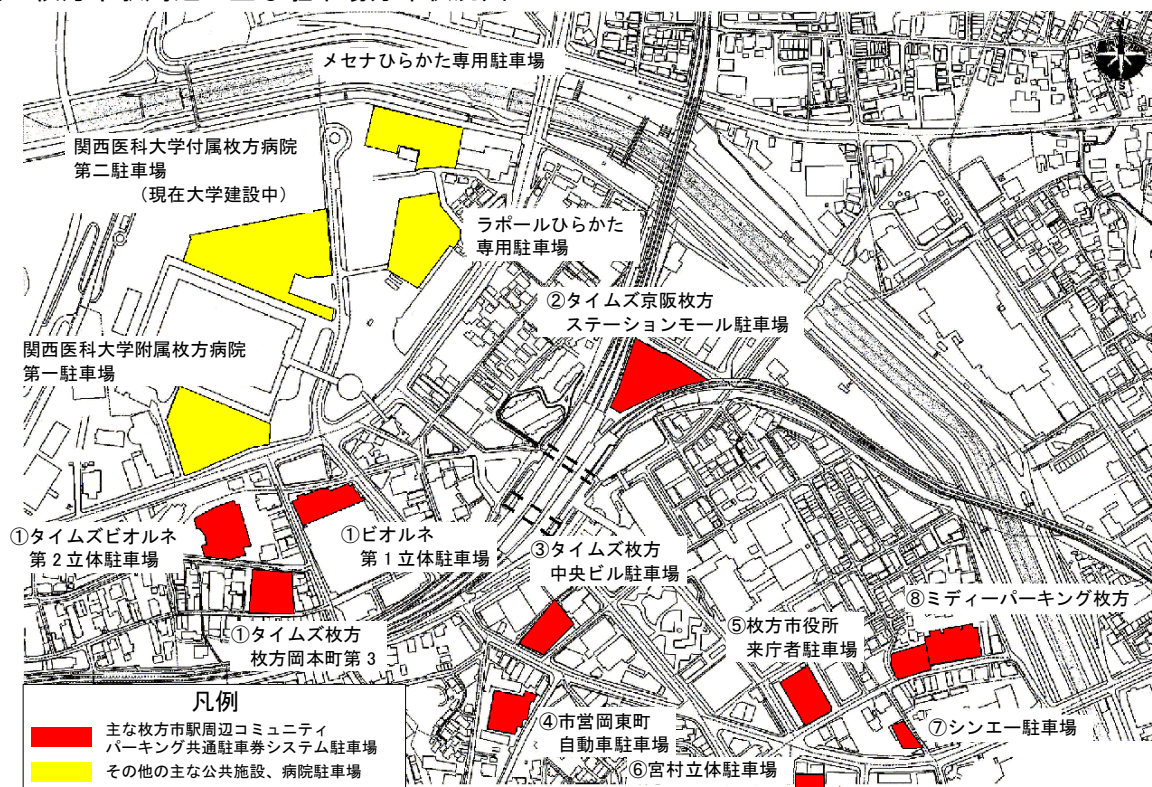
資料：京阪バス株式会社





## 17 駐車場の分布

図：枚方市駅周辺の主な駐車場分布状況図



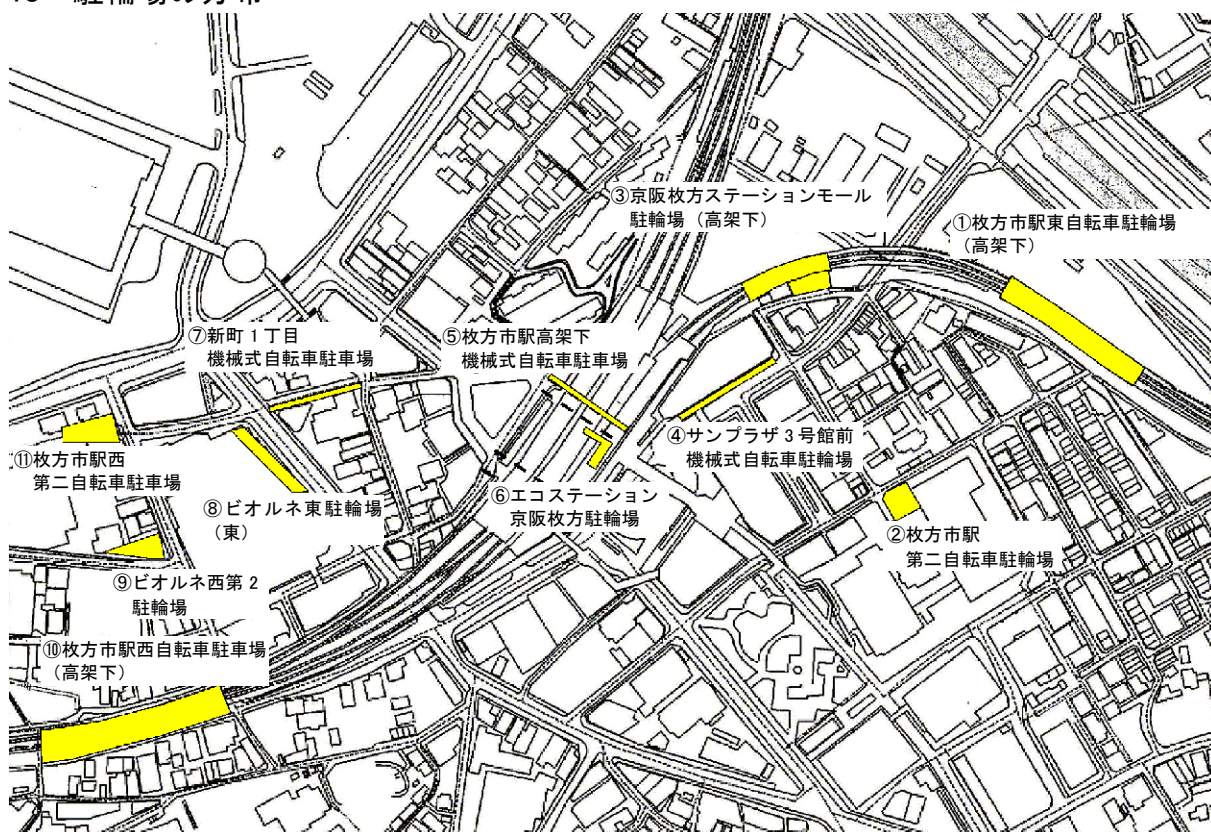
### <主な駐車場利用時間と利用料金>

No	駐車場名	利用時間	利用料金
①	ビオルネ第1立体	9:00～21:15	1時間まで400円その後30分毎に200円
	タイムズビオルネ 枚方第2立体	7:00～23:00 23:00～7:00 閉鎖	7:00～23:00 …200円/30分 最大料金 平日 800円 23:00～7:00…1泊200円
	タイムズ枚方岡本 町第3	24時間	8:00～23:00 …最初60分400円 以降30分毎200円 23:00～8:00…60分毎100円
②	タイムズ京阪枚方 ステーションモー ル駐車場	24時間	8:00～22:00 …500円/60分 22:00～8:00…100円/60分 当日最大 2,400円
③	タイムズ枚方中央 ビル駐車場	24時間	9:00～23:00 …200円/30分 23:00～9:00…100円/30分
④	市営岡東町自動車 駐車場	7:00～24:00	100円/30分 1日最大1,400円 0:00～7:00は、800円別途加算
⑤	枚方市役所来庁者 駐車場	土日祝のみ 9:00～20:00 平日 9:00～17:30	100円/30分 平日…来庁者のみ(無料)
⑥	宮村立体駐車場	8:00～20:00(日祝は休み)	1時間まで300円その後20分毎に100円
⑦	シンエー駐車場	24時間	平日(月～金) 9:00～17:00…100円/40分 17:00～9:00…100円/60分 土日祝(終日)…100円/60分 1日最大料金1,500円
⑧	ミディーパーキン グ枚方*	24時間	平日(月～金) 9:00～24:00…100円/30分 0:00～9:00…100円/60分 当日利用最大料金…1,000円 土日祝(終日)…500円/60分 以降30分毎250円 0:00～9:00…100円/60分

(枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務(平成22年度)より)

\*現在、⑧ミディーパーキング枚方は、NTTル・パルク枚方川原町第1駐車場に名称変更

## 18 駐輪場の分布



< 枚方市駅周辺の主な駐輪場の収容台数 >

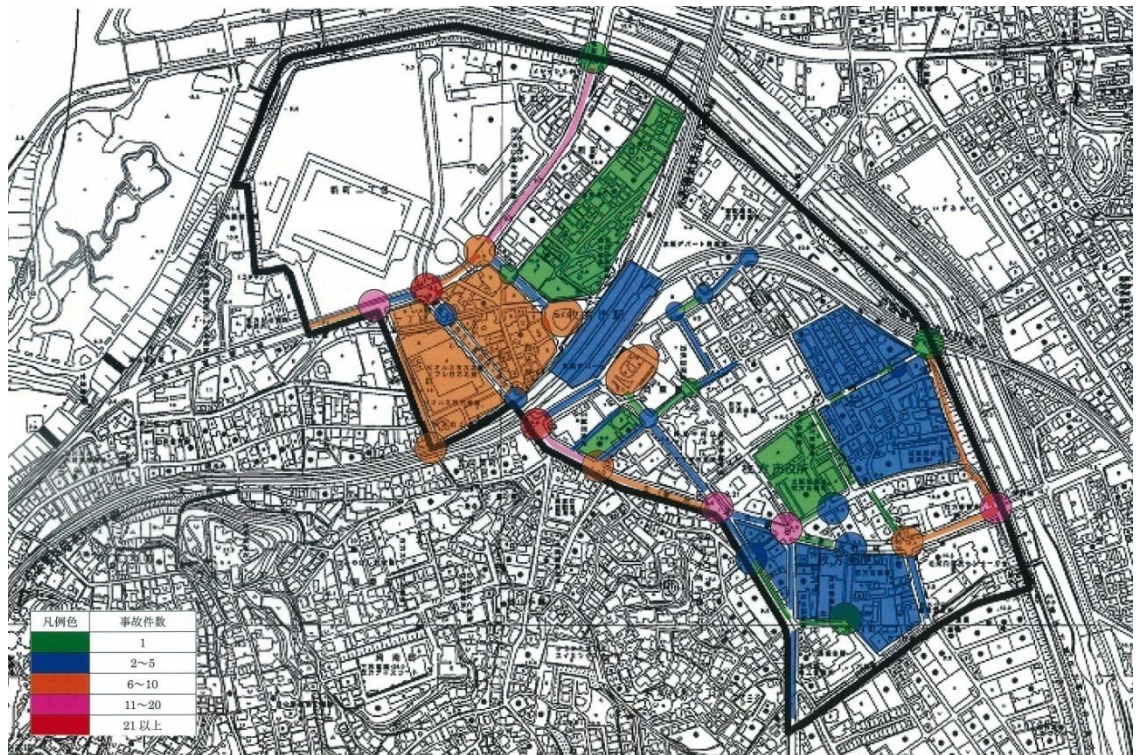
駐輪場名	自転車収容台数		バイク・原付収容台数	
	収容台数	料金（一時使用）	収容台数	料金（一時使用）
①枚方市駅東自転車駐輪場	1,045 台	100 円	311 台	200 円
②枚方市駅第二自転車駐輪場	35 台	100 円	89 台	200 円
③京阪枚方ステーションモール駐輪場	18 台	90 分無料 24 時間 150 円	69 台	90 分無料 ミニバイク 24 時間 300 円 自動二輪 24 時間 400 円
④サンプラザ 3 号館前機械式自転車駐輪場	111 台	90 分無料 6 時間まで 200 円 6～9 時間 300 円 9～24 時間 400 円	—	
⑤枚方市駅高架下機械式自転車駐輪場	106 台	90 分無料 6 時間まで 200 円 6～9 時間 300 円 9～24 時間 400 円	—	
⑥エコステーション京阪枚方駐輪場	171 台	90 分無料 6 時間まで 200 円	—	
⑦新町 1 丁目機械式自転車駐輪場	60 台	90 分無料 6 時間まで 200 円 6～9 時間 300 円 9～24 時間 400 円	24 台	90 分無料 6 時間まで 300 円 6～9 時間 400 円 9～24 時間 500 円
⑧ビオルネ東駐輪場	78 台	90 分無料 6 時間まで 200 円 その後 3 時間毎 100 円	—	
⑨ビオルネ西第二駐輪場	108 台	90 分無料 24 時間ごと 150 円	7 台	90 分無料 24 時間ごと 300 円
⑩枚方市駅西自転車駐輪場	910 台	100 円	380 台	200 円
⑪枚方市駅西第二自転車駐輪場	66 台	100 円	44 台	200 円

（枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務（平成 22 年度）より）



## 19 交通事故発生状況

図：5年間の事故発生状況図（平成22年は10月末までの数字）

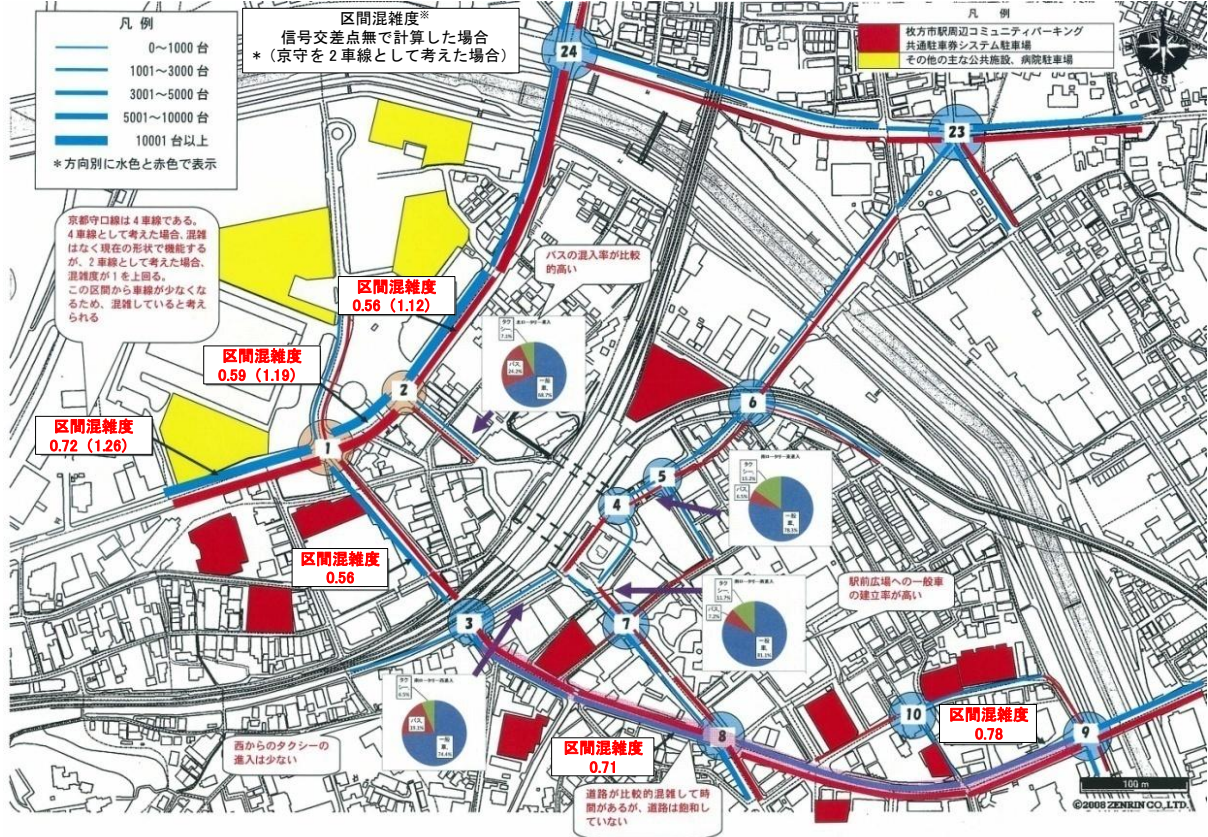


（枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務（平成22年度）より）

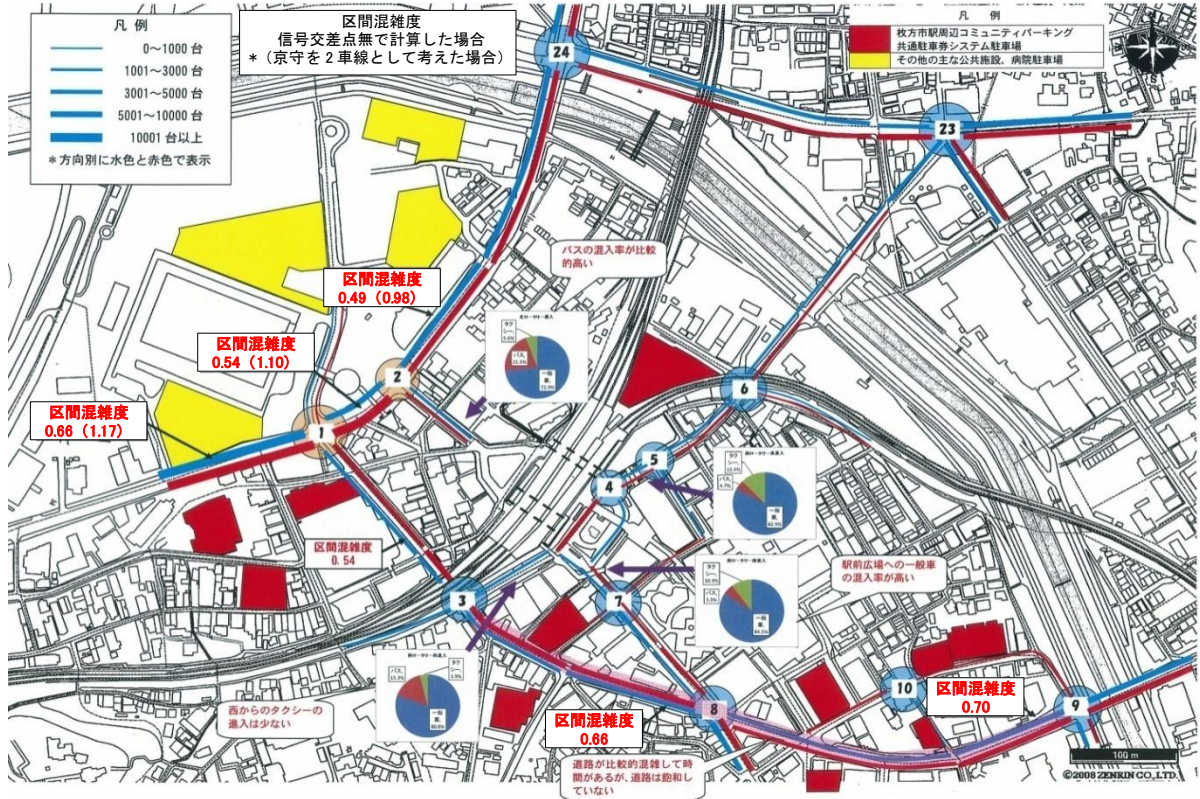


20 自動車交通量

図：枚方市駅周辺自動車交通量流図（平日） 平成22年11月29日：月曜日調査



図：枚方市駅周辺自動車交通量流図（休日） 平成22年11月28日：日曜日調査

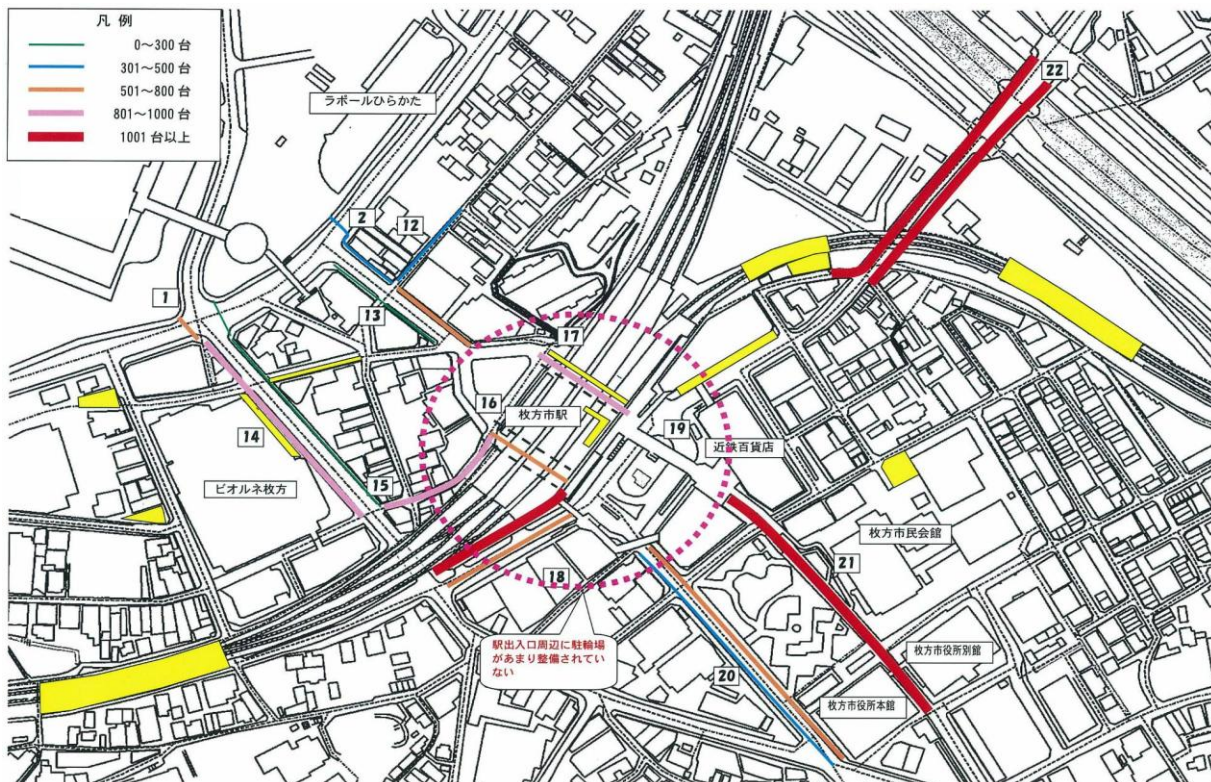


(枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務（平成22年度）より）

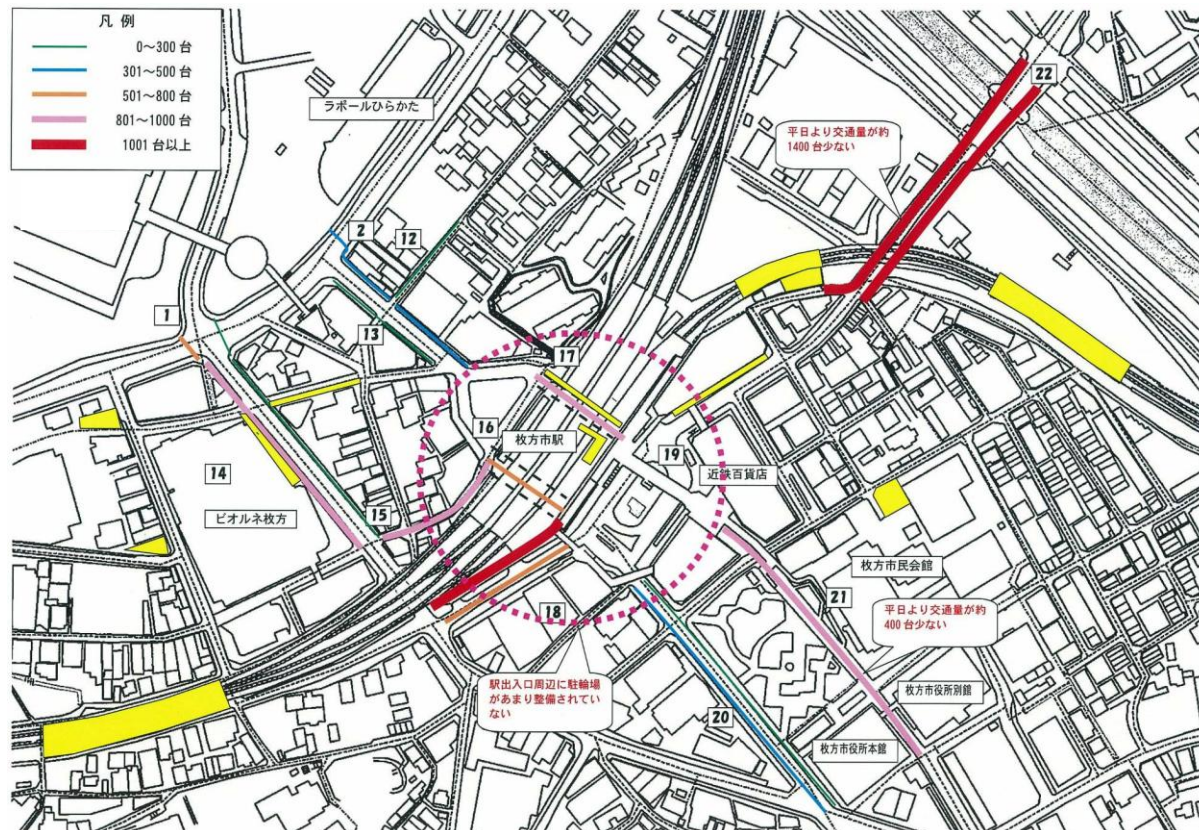


## 21 自転車交通量

図：枚方市駅周辺自転車交通量流図（平日） 平成22年11月29日：月曜日調査



図：枚方市駅周辺自転車交通量流図（休日） 平成22年11月28日：日曜日調査

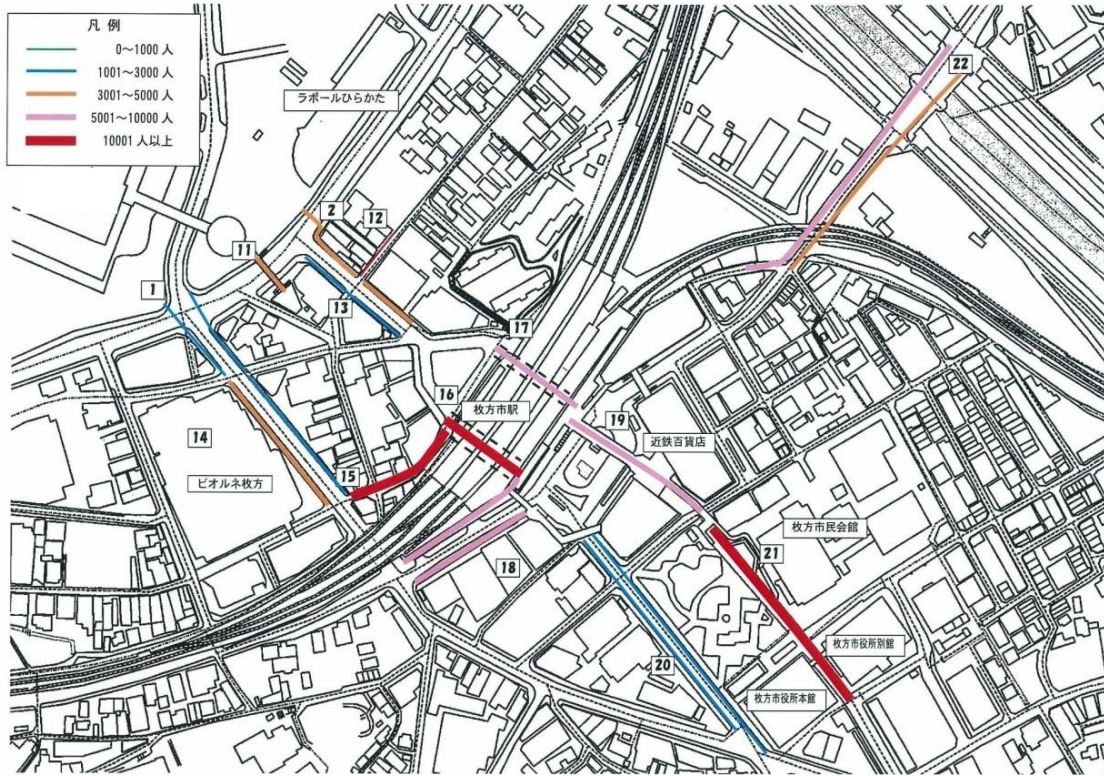


（枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務（平成22年度）より）

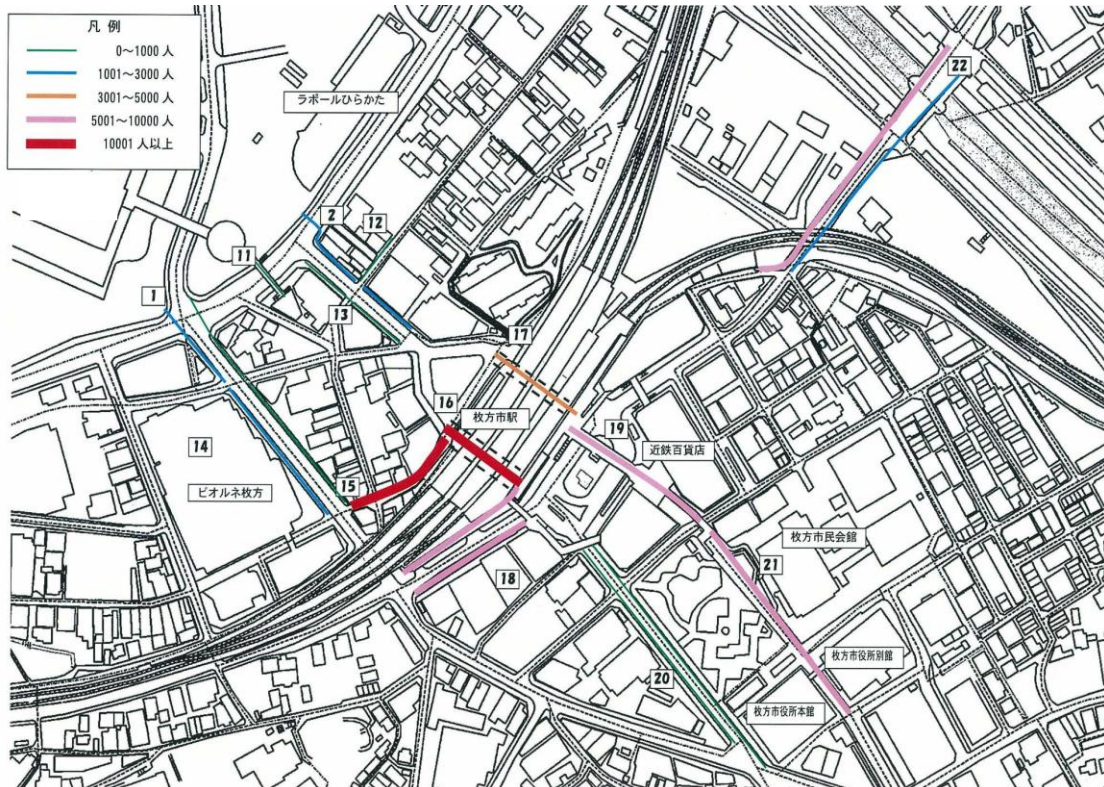


## 22 歩行者流動調査

図：枚方市駅周辺歩行者交通量流図（平日） 平成22年11月29日：月曜日調査



図：枚方市駅周辺歩行者交通量流図（休日） 平成22年11月28日：日曜日調査



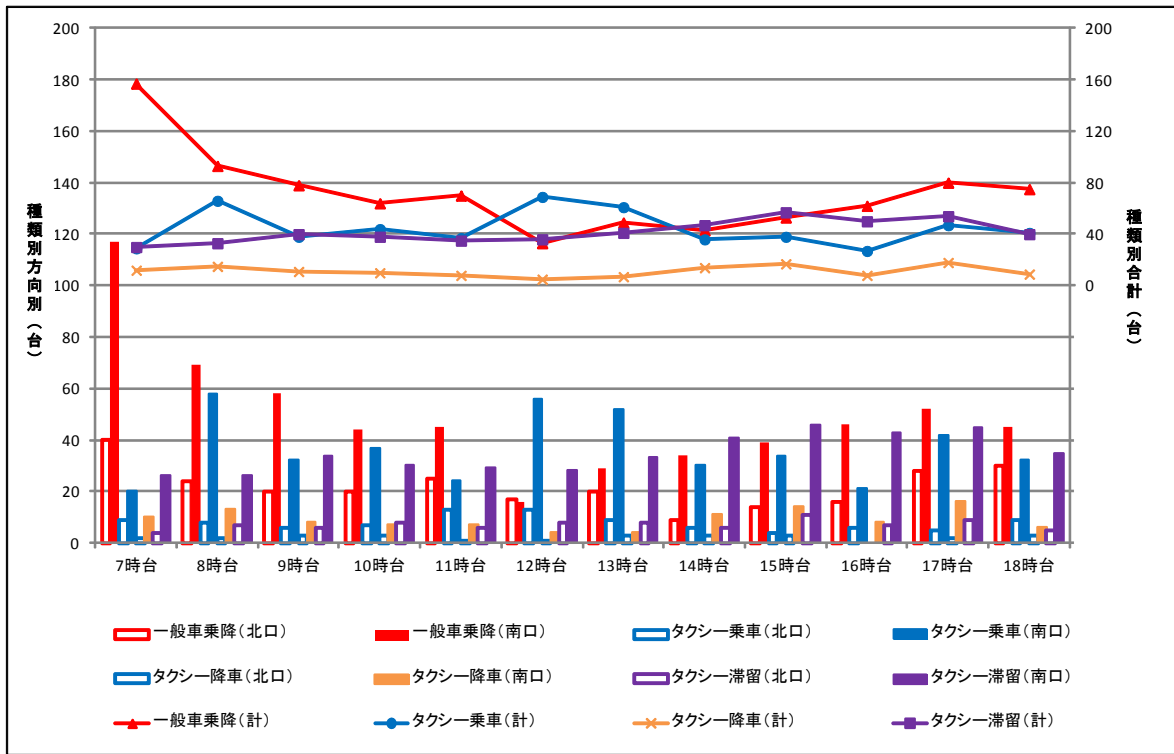
（枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務（平成22年度）より）

## 23 駅前広場自家用車・タクシー利用調査

①平日（平成23年2月2日：水曜日調査）

表：北口南口、送迎用自家用車及びタクシー利用状況（平日）

時間	一般車乗降			タクシー乗車			タクシー降車			タクシー滞留		
	北口	南口	計	北口	南口	計	北口	南口	計	北口	南口	計
7時台	40	117	157	9	20	29	2	10	12	4	26	30
8時台	24	69	93	8	58	66	2	13	15	7	26	33
9時台	20	58	78	6	32	38	3	8	11	6	34	40
10時台	20	44	64	7	37	44	3	7	10	8	30	38
11時台	25	45	70	13	24	37	1	7	8	6	29	35
12時台	17	16	33	13	56	69	1	4	5	8	28	36
13時台	20	29	49	9	52	61	3	4	7	8	33	41
14時台	9	34	43	6	30	36	3	11	14	6	41	47
15時台	14	39	53	4	34	38	3	14	17	11	46	57
16時台	16	46	62	6	21	27	0	8	8	7	43	50
17時台	28	52	80	5	42	47	2	16	18	9	45	54
18時台	30	45	75	9	32	41	3	6	9	5	35	40
合計	263	594	857	95	438	533	26	108	134	-	-	-

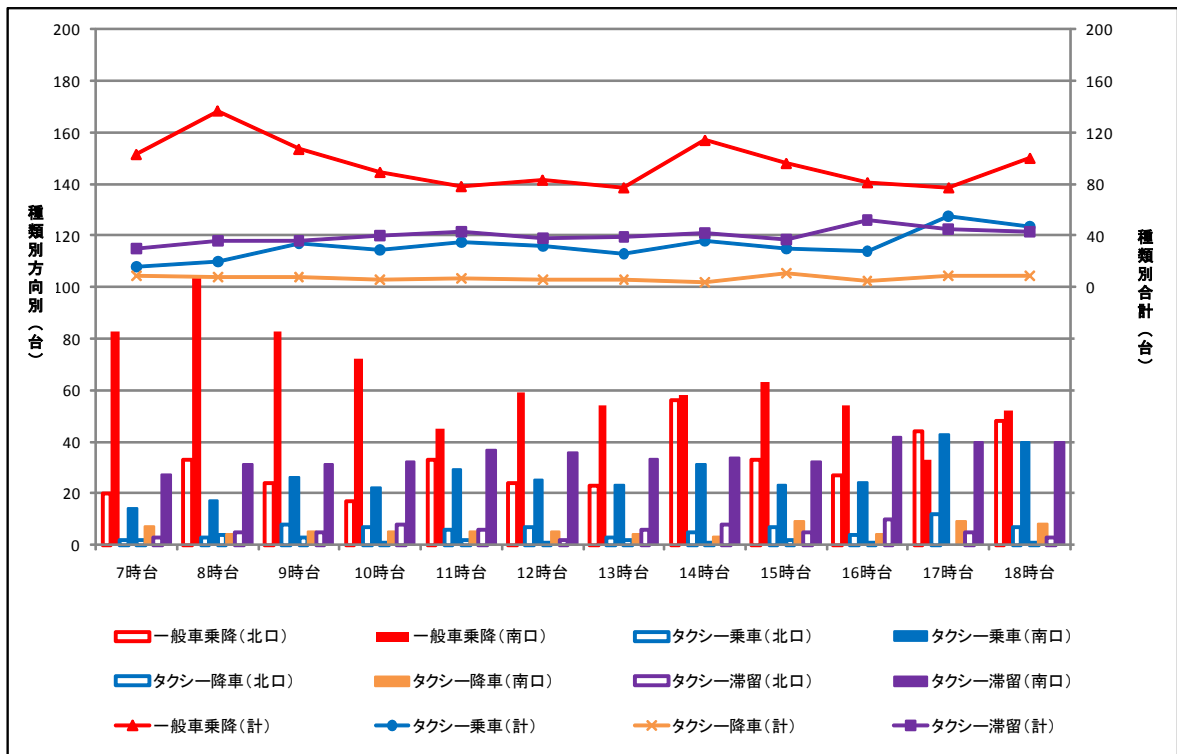


（枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務（平成22年度）より）

②休日（平成23年2月6日：日曜日調査）

表：北口南口、送迎用自家用車及びタクシー利用状況（休日）

時間	一般車乗降			タクシー乗車			タクシー降車			タクシー滞留		
	北口	南口	計	北口	南口	計	北口	南口	計	北口	南口	計
7時台	20	83	103	2	14	16	2	7	9	3	27	30
8時台	33	104	137	3	17	20	4	4	8	5	31	36
9時台	24	83	107	8	26	34	3	5	8	5	31	36
10時台	17	72	89	7	22	29	1	5	6	8	32	40
11時台	33	45	78	6	29	35	2	5	7	6	37	43
12時台	24	59	83	7	25	32	1	5	6	2	36	38
13時台	23	54	77	3	23	26	2	4	6	6	33	39
14時台	56	58	114	5	31	36	1	3	4	8	34	42
15時台	33	63	96	7	23	30	2	9	11	5	32	37
16時台	27	54	81	4	24	28	1	4	5	10	42	52
17時台	44	33	77	12	43	55	0	9	9	5	40	45
18時台	48	52	100	7	40	47	1	8	9	3	40	43
合計	382	760	1,142	71	317	388	20	68	88	-	-	-



（枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務（平成22年度）より）



### 1 地区内市民及び事業者意識調査

#### (1) 調査概要

##### 1) 目的

- ・当該地区に居住している市民及び事業を営んでいる事業者に対して、該当者の視点での意見を集約し、枚方市駅周辺のまちづくりに反映するためアンケート調査を実施した。

##### 2) アンケート調査実施期間及び回収数

###### ①市民アンケート調査

- 調査実施期間…平成 22 年 12 月 7 日～平成 22 年 12 月 17 日
- 回収数…174 票/600 票（回収率：29%）

###### ②事業者市民アンケート調査

- 調査実施期間…平成 22 年 12 月 7 日～平成 22 年 12 月 17 日（一部平成 22 年 12 月 27 日まで延期）
- 回収数…82 票/300 票（回収率：27.3%）

#### (2) 市民及び事業者の意識調査結果

##### 1) 枚方市駅周辺の施設や環境について

- ・市民、事業者とも「医療や福祉施設の充実度」についての満足度は高い。また、市民では、「商業施設の充実度」「公共施設の充実度」など、生活サービス施設に対する満足度が高い。
- ・逆に不満度が高いものとしては、市民、事業者とも「娯楽施設の充実度」「まちの安全や防犯」「駅前としての景観の美しさ」をあげている。
- ・その内、市民の約 45%が「まちの安全や防犯」に対して、事業者の約 45%が「駅前としての景観の美しさ」に不満を持っており、これらの改善がまちの活性化につながっていくものと考えられる。

##### 2) 枚方市駅周辺の交通状況について

- ・市民、事業者とも「公共交通の乗り換えの利便性」についての満足度は高い。また、市民では、「徒歩での通行のしやすさ」に対する満足度が比較的高い。
- ・それ以外の項目については、満足度は低く不満度が比較的高くなっている。
- ・その内、事業者では、「自動車の通行のしやすさ」や「駐車場の充実度」など自動車に関する整備の不満度が高いことから、これらの改善が必要であると考えられる。
- ・北口、南口別にみると、市民はほぼ同じような回答率であり、事業者で駐車場の充実度に対して南口が若干満足度は高くなっているが、それ以外の項目についてはほぼ同じような回答率である。

### 3) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な施設について

- ・市民、事業者とも「映画館や劇場などの娯楽施設」が最も回答数が多く、また市民では「図書館やホールなどの文化施設」に対する回答数も多く、前問の「娯楽施設の充実度」に対する不満度が高かったことから見ても、娯楽施設など余暇を過ごせる施設の整備が望まれていることがわかる。
- ・市民では、「日用品以外を扱う店」など商業施設の整備の回答が多いが、市民、事業者とも「空き店舗の活用や既存店舗のリニューアル」に対する回答が多いことを見ると、既存店舗等を活用した商業施設の活性化が求められていると考えられる。

### 4) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な環境整備（道路・公園等）について

- ・市民、事業者とも「道路の新設や拡幅」「歩行者専用道路等の整備」「自転車通行環境の整備」の回答数が多く、歩行者、自転車、自動車交通を分離した通行区分の整備が望まれているものと考えられる。また、「駅前広場の拡充」についても、市民、事業者とも回答数が多く、現状の駅前広場整備が望まれているものと考えられる。
- ・その他、「駅前の美しい景観整備」が市民、事業者とも回答数が多く、前問の「駅前としての景観の美しさ」に対する不満度が高かったことから見ても、駅周辺の景観形成が望まれているものと考えられる。

### 5) 買い物や娯楽などでよく行く場所及び事業を行うのに魅力がある場所について

- ・市民では、「枚方市駅周辺」が最も多く、約 6 割の人が回答しているが、残りの 4 割は他の場所へ買い物や娯楽へ出かけていることになり、これらの人の購買力を枚方市駅周辺へ呼び戻すことが当該地区の活性化につながると考えられる。
- ・事業者では「枚方市駅周辺」が最も多いが、回答率は 3 割以下となっており、事業者に対しての地区の魅力を高めることが、来訪者（利用者）に対しても訪れる機会を増やすことになり、当該地区の活性化につながるものと考えられる。

### 6) 当該地区へ訪れる頻度

- ・平日、休日とも「ほとんど毎日」が最も多く、生活の一部として当該地区を利用されている方が多いと考えられる。また、平日は、「月 5～10 回」をあわせると回答率が半数以上となることから、仕事や学校などで利用している人が休日も訪れていることが多いと考えられる。
- ・休日は、「月 1 回程度」などたまに訪れている人が 3 割程度となっていることから、これらの人の利用頻度を上げることが来訪者数を上げることに繋がると考えられる。

### 7) 当該地区での滞在時間

- ・平日は、「30 分～2 時間」が約半数となっており、用事を済ませるとすぐに帰る人が多いと考えられる。
- ・休日は、「30 分未満」が 2 割以上となっており、公共交通の乗り換えなどの利用者が比較的多いことが考えられる。
- ・これらの状況から、乗り換えなどの利用者や滞在時間が短い来訪者が長い時間滞在できるような施設の充実を図ることが、当該地区の活性化につながると考えられる。

#### 8) 当該地区周辺の風景やまちなみなどの魅力

- ・平日、休日とも「魅力を少々感じている」をあわせると魅力を感じている人は、半数程度となっている。
- ・一方、「魅力を感じない」は平日ほど回答率が高く、訪れる頻度が多いと考えられる平日利用者ほど魅力を感じていない状況である。また、休日で「わからない」が多いのは、たまにしか来ない人や初めての来訪者が多いからであると考えられる。
- ・これらの状況から、当該地区周辺の魅力を上げることが来訪者数を上げることに繋がると考えられる。

#### 9) 買い物でよく行く場所

- ・平日は「枚方市駅周辺」が最も多いが、「樟葉駅周辺」や「大阪市内」をあわせると 3 割程度となっており、仕事や学校がない休日は、枚方市駅周辺以外で買い物していることが比較的多いと考えられる。
- ・休日で「枚方市駅周辺」が半数以上を超えているのは、買い物を目的として当該地区を訪れている人が多いことからであると考えられる。
- ・これらの状況から、大阪市内など他市への購買層を呼び戻すことはもとより、現在買い物の目的先を当該地区としている人の数を減らさないことが必要であると考えられる。



## 2 来訪者意識調査

### (1) 調査の概要

#### 1) 目的

- ・市民、事業者アンケートとあわせて、枚方市駅周辺への来訪者の認識を把握するためヒアリング形式にてアンケート調査を実施した。

#### 2) ヒアリング調査実施時期及びヒアリング数

- ヒアリング調査実施日…平日：平成 22 年 12 月 3 日～平成 22 年 12 月 14 日  
休日：平成 22 年 12 月 5 日（日）および 12 月 11 日（土）
- ヒアリング調査数…平日：404 票、休日：403 票

### (2) 来訪者意識調査結果

#### 1) ここへ来た目的

- ・平日、休日とも「買い物・飲食」を目的とする人が多く、休日は回答者の約 4 割が「買い物・飲食」を目的としている。
- ・平日は、「市役所などの行政施設」を訪れる人や「仕事」、「病院」を目的とする人が比較的多い。
- ・平日、休日とも、散歩などのレクリエーションを目的で訪れる人が比較的多い。また、乗り換えのみで利用している人も比較的多い。
- ・その他の目的としては、平日は銀行やハローワークなどが多く、休日は通学が多い。

#### 2) 目的の施設

- ・平日、休日とも、「サティ」や「近鉄百貨店」及び周辺の商業施設を訪れる人が多い。枚方市駅周辺の店舗は点在しており、特に「サティ」と「近鉄百貨店」は離れていることから、中間にある「京阪百貨店」を含めた「サティ」～「近鉄百貨店」間の歩行者動線を確認できる可能性があることが考えられる。
- ・平日は、市役所やハローワークなどの行政施設や、関西医科大学附属枚方病院やその他の病院などの医療施設を訪れる人が比較的多い。
- ・その他としては、会社関係（仕事）などが多く、乗り換え及び自宅へ帰るなど枚方市駅周辺の施設を目的にしていない人も比較的多い。

#### 3) 来訪者の居住先及び家から当該地区までの交通手段

- ・来訪者の居住先は、平日、休日とも枚方市内が 7 割以上を占めており、隣接市の「寝屋川市」「交野市」「高槻市」をあわせると 8 割以上となっている。
- ・利用する交通手段は、平日、休日とも「電車」「バス」の公共交通利用者が多く、全体の半数近くをしめている。特にバス利用者は全体の 2 割以上をしめており、近郊からの利用者が比較的多いことが考えられる。いっぽう自家用車は平日、休日とも全体の 1 割程度であり、この状況を見ても公共交通での利用者が多いことが考えられる。
- ・休日は、「徒歩」や「自転車」が多く、周辺からの利用者が多い。

- ・これらの状況から、当該地区は周辺や近郊に居住しているなど比較的狭いエリアでの利用者が多いことから、公共交通の利便性の向上や、駐輪場の整備やベンチの設置など、自転車や徒歩で訪れる人への施設整備が、当該地区への利用頻度を上げることにつながると考えられる。

### 3 市政モニター※意識調査

#### (1) 調査の概要

##### 1) 目的

- ・枚方市周辺地域から枚方市駅周辺についての市民の認識を把握するため、市政モニター登録者を対象としアンケート調査を実施した。

##### 2) アンケート調査実施期間及び回収数

- 調査実施期間…平成 22 年 12 月 10 日～平成 22 年 12 月 27 日
- 市政モニターアンケート調査…公募市民 251 名
- 回収数…144 票（回収率 57.3%）

#### (2) 市政モニター意識調査結果

##### 1) 当該地区へ来る目的

- ・「買い物・飲食」を目的とする人が多く、当該地域に商業的な需要があることが伺える。
- ・次いで、市役所などの官公庁や市民会館などの文化施設となっており、公共施設を利用する目的性が高い。
- ・また、電車やバスなどの公共交通に乗るための人が比較的多いことから、これらの人に対して、公共施設への乗り換えだけでなく、店舗や飲食店などを利用してもらえるような魅力ある商業地づくりが必要である。

##### 2) 施設や環境について

- ・「商業施設の充実度」や「医療や福祉施設の充実度」、「公共施設の充実度」など、生活サービス施設に対する満足度が高い。
- ・逆に、満足度が高かった「商業施設の充実度」は不満度も高く、不満度が高い「娯楽施設の充実度」とあわせ、商業系施設の充実に対する不満度が高い。
- ・また、「駅前としての景観の美しさ」や「樹木や花などの緑の美しさ」など景観に対する不満度が高く、これらの改善がまちの活性化につながっていくものと考えられる。

##### 3) 「南口」「北口」周辺交通の状況

- ・満足度が高いのは、「公共交通の乗り換えの利便性」についてのみであり、それ以外の項目については、満足度は低く不満度が比較的高くなっている。
- ・その内、「自動車の通行のしやすさ」や「駐車場の充実度」など、自動車に関する整備の不満度が高く、また、「自転車での通行のしやすさ」や「駐輪場の充実度」など、自転車に関する整備の不満度も高いことから、これらの改善が必要であると考えられる。

##### 4) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な施設

- ・「空き店舗の活用や既存店舗のリニューアル」に対する回答が最も多いことを見ると、既存店舗等を活用した商業施設の活性化が求められていると考えられる。

- ・次いで、「映画館や劇場などの娯楽施設」、「図書館やホールなどの文化施設」の回答数が多く、前問の「娯楽施設の充実度」に対する不満度が高かったことから見ても、娯楽施設など余暇を過ごせる施設の整備が望まれていることがわかる。

#### 5) 枚方市駅周辺のまちづくりのために必要な環境整備（道路・公園など）

- ・「駅前ロータリーの拡充」が最も回答が多く、「駅前広場の自動車での通行のしやすさ」の不満度が高いところから見ても、駅前広場の整備が望まれていることが分かる。
- ・次いで、「歩行者専用道路等の整備」「道路の新設や拡幅」「自転車通行環境の整備」などの回答数も多く、歩行者、自転車、自動車交通を分離した通行区分の整備が望まれているものと考えられる。
- ・その他では、「駅前の美しい景観整備」の回答数が多く、前問の「駅前としての景観の美しさ」に対する不満度が高かったことから見ても、駅周辺の景観形成が望まれているものと考えられる。

#### 6) 買い物や娯楽などでよく行く場所

- ・「枚方市駅周辺」より「樟葉駅周辺」の回答率が高くなっており、枚方市内で見ると樟葉駅周辺の方が、商業需要が高いことが伺える。
- ・ただし、「枚方市駅周辺」と「樟葉駅周辺」をあわせると61.2%となり、6割以上が枚方市内で買い物などを行っている。
- ・他の地域としては、「大阪市内」が16.8%となっており、大阪市内など他市への購買層を呼び戻すことはもとより、現在買い物の目的先を当該地区としている人の数を減らさないことが必要であると考えられる。

### 3. 用語集

---

## あ

### 大型商業施設 【P1】

枚方市駅周辺地域では、京阪百貨店、ビオルネや既に閉店した三越枚方店、長崎屋枚方店、近鉄百貨店枚方店を表す。

## か

### 回遊性 【P4】

あちらこちらを遊覧して回る性質。

### 界索性 【P20】

そのあたり一帯。付近。近辺。

地元商店街などの賑わいや生業の活気といった、生活感あふれる雰囲気を感じさせる個性的な街並みについて、界索性が高いなどという。個々の非合理的条件が全体としては合理的にまとまっているような状態をいう。

### 北河内地区 【P8】

守口市、門真市、寝屋川市、交野市、四條畷市、大東市、枚方市の行政区域をいう。

### 北河内府民センター 【P8】

大阪府の行政施設で地域ごとに行ったほうが効率のよい業務を担当する出先機関が入居している。主な出先機関は、北河内府税事務所、枚方土木事務所など。

### 経済センサス 【資-9】

事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的として、総務省が行う調査。

事業所・企業の基本的構造を明らかにする「経済センサス - 基礎調査」と事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「経済センサス - 活動調査」の2つから成り立っている。

### 合計特殊出生率 【資-4】

合計特殊出生率とは、1人の女子が生涯に生む子供の数を近似する指標である。最近では、出生率といえばこの合計特殊出生率を示す場合が多い。出生数は出産適齢期（15歳から49歳までの女子）の人数により変化するため、適齢期の人数に左右されることなく出生の状態を観察できるように開発された。

年齢別の出生率を特殊出生率といい、それを合計したものが合計特殊出生率である。

合計特殊出生率は、その年齢の女子が生んだ子供の数を、各歳の女子人口（15歳から49歳の合計）で除して算出され、1人の女子が生涯に生む子供の数の目安になる。

### コーホート要因法 【資-4】

ある年、あるいは、ある期間に出生した人たちの人口の変化をとらえ、将来の人口を予測する手法のひとつ。

コーホート要因法のコーホートとは、ある年、あるいは、ある期間に出生した人たちのことであ

り、これをひとつの集団とする。コーホート要因法では、その集団ごとの出生率や死亡率などを計測し、その変化率から将来の人口を予測する。

### 混雑度 【資-20】

混雑度とは、道路の混み具合を示す指標であり、交通量を道路設計上の基準交通量で除したものである。

$$(\text{混雑度}) = (\text{交通量}) / (\text{設計上の基準交通量})$$

混雑度	交通状況
2.0 以上	慢性的な混雑状況となる。昼間 12 時間のうち混雑する時間帯が約 70% に達する。
1.75～2.0	慢性的な混雑状況となる。昼間 12 時間のうち混雑する時間帯が約 50% に達する。
1.25～1.75	ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態。
1.0～1.25	昼間 12 時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間帯が 1～2 時間（ピーク時間）ある。何時間も混雑が連続する可能性は小さい。
1.0 未満	昼間 12 時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。

## さ

### 再生可能エネルギー 【P28】

再生可能エネルギーとは、法律（※）で「エネルギー源として永続的に利用することができる」と認められるもの」として、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスが規定されている。再生可能エネルギーは、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギーをいう。

（※）エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律

### 市街地再開発事業 【P1】

市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るための事業。

### 社会移動 【資-4】

人口変動の要因のうち、出生や死亡である自然移動に対し、転入や転出による移動のことをいう。

### 住民基本台帳人口 【資-4】

住民基本台帳とは、氏名、生年月日、性別、住所などが記載された住民票を編成したもので、住民に関する事務処理の基礎となるもの。

住民基本台帳の閲覧や住民票の写しの交付などにより、住民の居住関係を公証するとともに、選挙人名簿への登録や国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金の被保険者の資格の確認等の事務処理のために利用している。

住民基本台帳人口とは、住民基本台帳法に基づき、住民票に記載されている者の数。

### 市政モニター 【資-30】

市民の声を市政に反映させるため、アンケートで市政についての意見・提案などを聴く「市政モニター制度」のもと、本市では、郵送モニターのほか、インターネットを利用しアンケートに答えていただく、eモニターを新たに設け、制度の充実を図っている。

## 商業集積地区 【P12】

おもに都市計画法第 8 条に定める「用途地域」のうち、商業地域及び近隣商業地域であって、商店街を形成している地区をいう。

おおむねひとつの商店街をひとつの商業集積地区とする。ひとつの商店街とは、小売店、飲食店及びサービス業が近接して 30 店舗以上あるものをいう。また、「ひとつの商店街」の定義に該当するショッピングセンターや多事業所ビル（駅ビル、寄合百貨店等）は、原則として一つの商業集積地区とする。

なお、枚方市駅周辺地域では、枚方市駅南、枚方市駅北、枚方市駅高架下、川原町、ビオルネ、岡本町中央を表す。

## 商業統計 【P12】

商業を営む事業所について、業種別、従業者規模別、地域別等に事業所数、従業者数、年間商品販売額等を把握し、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的として、経済産業省が行う調査。

## 所得割賦課標準額 【資-3】

その年の総所得金額等から住民税等の基礎控除額を差し引いた額。

## 新耐震基準 【P9】

建物が最低限度の耐震能力を備えていることを保障している 1981 年（昭和 56 年）6 月 1 日に改正され、建築基準法に定められている新しい耐震基準。

この新耐震基準と区別するために 1981 年（昭和 56 年）6 月 1 日以前の耐震基準のことを旧耐震基準と呼ぶ。

# た

## 大学との連携協定 【P30】

大学との連携については、これまでも市民講座など大学と市民の連携した事業を実施してきたが、さらなる連携を図り、市内 6 大学の専門性を活かして具体的な地域貢献活動に取り組むにあたって、市や大学がそれぞれの役割と責任を明確にするための連携協力に関する協定。

平成 24 年 7 月に大阪歯科大学、関西医科大学、摂南大学、平成 24 年 11 月に関西外国語大学、平成 25 年 2 月に大阪国際大学、大阪工業大学とそれぞれ締結。

## 第 4 次枚方市総合計画 【P2】

枚方市がめざすまちの姿（将来像）を示し、その実現に向け市政全般にわたる施策の方向や主要な取り組みを定めた計画で、市の全ての計画の基礎となるもの。

## 地域資源 【P6】

自然資源のほか、特定の地域に存在する特徴的なものを資源として活用可能のものにとらえ、人的・人文的な資源をも含む広義の総称。近年は、地域活性化などの施策などの試みにおいて特徴・素材となるものを定義付けし、活用している事例が多い。

## 地区計画 【P6】

地区の状況や特性に応じて、地区レベルで必要な道路や公園などの地区施設の配置や、建築物の用途・形態・敷地などに関する事項を定め、開発行為、建築行為等を誘導し、規制することにより、良好な環境の街区の整備や保全を行うもの。

## 低未利用地 【P8】

適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間に渡り利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称。

## 都市基盤 【P1】

適正な都市化を促進するため必要な施設等のことで一般的には道路、鉄道、河川、上下水道や学校、病院、公園等のことをいう。

## 土地区画整理事業 【P6】

公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るために行う事業。

# は

## バス 【P14】

路線バス乗降のためのスペース。バス停留所。

## 枚方市駅周辺整備基本構想 【P2】

枚方市駅周辺地域において展開する各種事業の連携を容易にし、本地域を取巻く課題や将来的な土地利用の目標・方向性を市民、事業者、行政が共有するために枚方市が作成した基本構想。

## 枚方市地域防災計画 【P29】

災害時における住民の生命、身体及び財産を保護するとともに、災害による被害を軽減するための市域に係る災害予防、災害応急対策、災害復旧等に関し、市及び防災関係機関が処理すべき事務又は業務の大綱等を定めることにより、防災活動の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的し、策定された計画。

## 枚方市都市計画マスタープラン 【P2】

枚方市の望ましい都市像を市民の方々にわかりやすく示し、市民や事業者の皆さまと行政がそれらを共有しながら実現していくことを目的とした、まちづくりの基本的な方針を示したもの。

## 枚方市内 6 大学 【P16】

大阪歯科大学（楠葉学舎、牧野学舎）、摂南大学（枚方キャンパス）、関西医科大学（牧野キャンパス、枚方キャンパス）、大阪工業大学（枚方キャンパス）、大阪国際大学（枚方キャンパス）、関西外国語大学（中宮キャンパス、穂谷キャンパス）※関西医科大学（枚方キャンパス）は平成 25 年度開校予定。

## 枚方市緑の基本計画 【P28】

緑豊かで美しく、快適な都市環境の形成を図るため、緑のオープンスペースを計画的かつ効果的に整備、保全及び創出することを目的として、基礎資料を基に現況調査を行い、解析・評価と課題の整理を通じて、豊かで美しく、快適な都市環境の形成を図るための、緑の保全、緑化に関する指導、整備等の諸施策を推進するために策定された計画。

## 枚方宿 【P1】

京都と大阪に位置する枚方は、古くから交通の要衝で、文禄年間、豊臣秀吉が淀川左岸に築いた「文禄堤」は京と大坂を結ぶ幹線陸路の役割を果たし、やがて、京街道として整備された。「大坂夏の陣」（1615 年）の後、大坂城を接収した江戸幕府は京街道を東海道の延長部として組み込み、伏見・淀・枚方・守口を宿に指定。品川宿から数えると 56 番目にあたる枚方宿には参勤交代で江



戸・和歌山を往復する紀州徳川家が定期的に宿泊した。

### **ひらかた未来トーク 【P7】**

より幅広い市民の声を聴くために枚方市が取り組んでいる広聴手法の一つ。

市民と行政が力を合わせて住み良い枚方を築くため、市政の現状や具体的な課題をテーマとして、市民と市長が意見交換を行う対話のこと。

### **ヒートアイランド（現象） 【P28】**

都市の気温が郊外よりも高くなる現象のこと。都市化の進展に伴い顕著になりつつあり、夏季における日中の気温の上昇や熱帯夜の増加による熱中症等の健康への被害や生活上の不快感を増大させる要因になっている。

### **ha（ヘクタール） 【P6】**

面積の単位を表す。1ha=10,000 m<sup>2</sup>

## **ま**

### **街コン 【P30】**

街ぐるみで行われる大型合コンイベントである。一般的な合コンと異なり一定のグループごとに主催者が開催地区の定められた複数の飲食店を予約、貸切り、そこを回り交流する『出会いの場創出』と『地域活性化』が融合したイベント。

### **まちづくり、ふれあいミーティング 【P7】**

より幅広い市民の声を聴くために枚方市が取り組んでいる広聴手法の一つ。

市民が普段の活動で行っているミーティングの場や、同じ活動をする市民が集まった場に市長が赴き、市民と意見交換を行う対話のこと。

### **街バル 【P30】**

地域・街の活性化と飲食店（商業）の活性化を目的とした地域と街が密着して開催する大型の食べ歩き飲み歩きイベント。

### **未利用エネルギー 【P28】**

河川水・下水等の温度差エネルギー（夏は大気よりも冷たく、冬は大気よりも暖かい水）や、工場等の排熱といった、今まで利用されていなかったエネルギーを総称して、「未利用エネルギー」と呼ぶ。

## **ら**

### **連続立体交差事業 【P1】**

鉄道と複数の幹線道路との交差（踏切）を解消し、都市交通機能の向上を図るための事業。

## 4. ビジョン策定経過

### ●枚方市駅周辺再整備ビジョン策定委員会

#### ・目的

枚方市駅周辺整備基本構想を踏まえた、市駅周辺の総合的なまちづくりに関するビジョンを策定する。

#### ・委員会メンバー

委員長	都市整備部担当副市長
副委員長	委員長でない担当副市長
委員	理事（都市基盤整備調整担当）
	理事（建設・環境部門調整担当）
	理事（総務部門調整担当）
	理事（厚生部門調整担当）
	教育委員会教育次長
	政策企画部長
	市民安全部長
	総務部長
	財務部長
	地域振興部長
	都市整備部長
	土木部長
	公共施設部長
教育委員会管理部長	

（平成24年12月末現在、臨時委員含）

#### ・実施経過

第1回 平成20年 8月26日

議題：枚方市駅周辺地区における再整備の取り組みについて

枚方市駅周辺の再整備ビジョン策定に関する今後の予定について

第2回 平成20年11月19日

議題：枚方市駅周辺再整備ビジョン策定の範囲及び今後の予定について

枚方市駅周辺基本構想の検証について

第3回 平成21年 8月 5日

議題：枚方市のまちづくりについての講演

枚方市駅周辺整備ビジョン策定のスケジュール（案）についての報告

地元組織化に向けた主な団体等へのヒアリングの実施についての報告

第4回 平成22年 7月12日

議題：枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務委託について

- 第5回 平成22年 7月22日  
議題：枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査について
- 第6回 平成23年11月 1日  
議題：委員構成等の改正及び再整備ビジョン策定の推進体制について  
枚方市駅周辺再整備ビジョンの方向性の確認について  
今後のスケジュールについて
- 第7回 平成24年 1月24日  
議題：専門検討委員会および地元懇談会の設置について  
委託業務の契約について  
当面のスケジュールについて
- 第8回 平成24年 4月12日  
議題：枚方市駅周辺再整備ビジョン専門検討委員会等の経過報告について  
まちづくりの方向性について
- 第9回 平成24年 6月 1日  
議題：まちづくりの方向性と実現化方策について
- 第10回 平成24年 6月29日  
議題：ビジョン骨子案について  
まちづくりの実現化方策について
- 第11回 平成24年 7月26日  
議題：ビジョン骨子案について
- 第12回 平成24年11月 2日  
議題：ビジョン素案について
- 第13回 平成24年12月10日  
議題：ビジョン素案について
- 第14回 平成25年2月28日  
議題：パブリックコメントについて  
ビジョン概略検討について

●枚方市駅周辺再整備ビジョン検討プロジェクトチーム

・プロジェクトチームの事務分掌

- (1) 枚方市駅周辺再整備ビジョンの策定にあたる技術的事項等の調整研究に関すること
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること

・プロジェクトチームメンバー

総括	理事（建設・環境部門調整担当）
副総括	政策企画部 次長
	地域振興部 次長
	都市整備部 次長
チーフ	都市整備部 都市整備推進室 課長代理
副チーフ	政策企画部 企画課 課長代理
	地域振興部 産業振興課 課長代理
	土木部 土木総務課 課長代理
チーム員	財務部 財政課 係長
	地域振興部 地域振興総務課 係長
	都市整備部 都市計画課 主任
	都市整備部 都市整備推進室 主任
	都市整備部 開発指導室 開発調整課 主任

(平成24年12月末現在)

・実施経過

- 第1回 平成23年11月28日  
議題：枚方市駅周辺地区における再整備の取り組みについて  
枚方市駅周辺の再整備ビジョン策定に関する今後の予定について
- 第2回 平成23年12月 6日  
議題：業務委託仕様書の追記事項（各グループの検討）について
- 第3回 平成24年 1月23日  
議題：第7回ビジョン策定委員会・第9回ビジョン策定委員会幹事会の開催について
- 第4回 平成24年 2月10日  
議題：枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に係る基礎調査業務委託業者との打ち合わせ
- 第5回 平成24年 2月21日  
議題：枚方市駅周辺再整備ビジョン専門検討委員からの調査・要望等について
- 第6回 平成24年 3月 8日  
議題：第2回枚方市駅周辺再整備ビジョン専門検討委員会について
- 第7回 平成24年 4月 9日  
議題：第10回ビジョン策定委員会幹事会の開催について
- 第8回 平成24年 5月 8日  
議題：庁内委員会、専門検討委員会、地元懇談会、意見交換会によるビジョンの方向性について  
学生等（若年層）対象の意見交換会の結果報告  
商業アンケート調査実施要領について  
交通、土地利用に関する枚方市駅周辺の現況・課題・対応の方向について

- 第9回 平成24年 5月18日  
議題：第11回枚方市駅周辺再整備ビジョン策定委員会幹事会の開催に向けて
- 第10回 平成24年 5月29日  
議題：第11回枚方市駅周辺再整備ビジョン策定委員会幹事会の開催に向けて  
(ビジョン具体案)
- 第11回 平成24年 6月12日  
議題：3次元空間シミュレーションについて  
次回専門検討委員会に向けた検討について  
骨子作成に向けた作業の進め方について
- 第12回 平成24年 6月21日  
議題：まちづくりの実現化方策とエリアマネジメントについて  
ビジョン骨子案について
- 第13回 平成24年 7月23日  
議題：ビジョン骨子案について  
各検討グループの検討事項の整理について  
まちづくりシンポジウムの結果報告  
今後のスケジュールについて
- 第14回 平成24年10月 2日  
議題：ビジョン素案について  
各検討グループの検討について  
今後のスケジュールについて
- 第15回 平成24年10月11日  
議題：ビジョン素案について
- 第16回 平成24年10月17日  
議題：ビジョン素案について
- 第17回 平成24年10月25日  
議題：ビジョン素案について
- 第18回 平成25年 1月18日  
議題：ビジョン素案の確定について  
パブリックコメントの実施について  
今後の取り組みについて
- 第19回 平成25年 2月 8日  
議題：ケーススタディについて  
今後の取り組みについて
- 第20回 平成25年 2月15日  
議題：ケーススタディについて  
パブリックコメントの意見取りまとめについて
- 第21回 平成25年 2月21日  
議題：ケーススタディについて  
パブリックコメントの意見取りまとめについて  
事業者ヒアリングについて

●枚方市駅周辺再整備ビジョンに関する意見聴取会（旧枚方市駅周辺再整備ビジョン専門検討委員会）

・目的

枚方市駅周辺再整備ビジョンの策定に向けて、学識経験者等による専門的な組織を設置し、枚方市駅周辺の諸課題、まちづくりの方向性、ビジョンの推進のための具体的な手法等について各分野の専門的見地からの意見を聴取する。

・意見聴取会メンバー

分野	氏名	役職等	備考
都市計画	古山 正雄	京都工芸繊維大学 学長	
都市再開発	横島 毅	全国市町村再開発連絡協議会 顧問	
商業政策	藤岡 里圭	関西大学 商学部 教授	
建築	川上 比奈子	摂南大学 理工学部 住環境デザイン学科 教授	
文化	木ノ下 智恵子	大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター 特任准教授	
住宅政策	星野 博信	大阪府 住宅まちづくり部 居住企画課 課長補佐	第3回以降出席
	川端 博之		前任者 第2回まで出席
公共交通	安積 正彦	京阪電気鉄道株式会社 経営統括室 部長	第6回以降出席
	久ノ坪 宏司		前任者 第5回まで出席
商工業	田中 隆夫	北大阪商工会議所 専務理事	

・実施経過

（専門検討委員会）

- 第1回 平成24年 2月15日 議題：会の運営について  
枚方市駅周辺の現状と課題について
- 第2回 平成24年 3月13日 議題：現地視察  
地区の課題整理について  
目指すべき方向について
- 第3回 平成24年 4月16日 議題：地区の将来像とまちづくりの方向性について
- 第4回 平成24年 6月 5日 議題：まちづくりの方向性の実現に向けて
- 第5回 平成24年 7月 4日 議題：ビジョン骨子案について  
まちづくりの実現化方策について
- 第6回 平成24年 8月 1日 議題：ビジョン骨子案について

（意見聴取会）

- 第1回 平成24年11月19日 議題：ビジョン素案について
- 第2回 平成25年 3月18日 議題：ビジョン（案）について

## ●枚方市駅周辺まちづくり懇談会

### ・目的

枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に向け、地元住民・地元事業者等による組織と枚方市駅周辺地域のまちづくりについて意見交換を行う。

### ・実施経過

- 第1回 平成24年 1月31日 議題：枚方市駅周辺の現状と課題
- 第2回 平成24年 4月19日 議題：地区の将来像とまちづくりの方向性について
- 第3回 平成24年 6月26日 議題：まちづくりの方向性の実現に向けて
- 第4回 平成24年 7月18日 議題：まちづくりの実現化方策について  
ビジョン骨子案について
- 第5回 平成24年 8月 8日 議題：ビジョン骨子案について
- 第6回 平成24年11月27日 議題：ビジョン素案について
- 第7回 平成25年 3月27日 議題：ビジョン（案）について

## ●市議会との意見交換等

### ・枚方市駅周辺再整備ビジョンに係る意見交換会

- 第1回 平成24年 3月28日 議題：ビジョンのこれまでの検討の経過について  
枚方市駅周辺地区に係る現況と課題について
- 第2回 平成24年 5月22日 議題：枚方市駅周辺地区に係る現況と課題について  
地区の将来像とまちづくりの方向性について

### ・枚方市駅周辺再整備ビジョン策定に伴う勉強会

- 第1回 平成24年 2月17日  
講演 『人口減少時代における郊外主要駅周辺の新しい方向性について』
- 第2回 平成24年 4月20日  
講演 『街づくりの進め方』

## ●市民との意見交換

### ・まちづくりふれあいミーティング 平成24年 6月 9日

枚方市および枚方市駅周辺でイベント活動の企画やボランティア活動を行っている10代～20代の若者たちとの意見交換。

テーマ：枚方市駅周辺のまちづくりについて

### ・ひらかた未来トーク 平成24年10月27日

一般公募による10代～70代の枚方市民等との意見交換。

テーマ：枚方市駅周辺のまちづくりについて

## ●その他

### ・これからの枚方市駅周辺を考えるまちづくりシンポジウム 平成24年 7月15日

枚方市駅周辺再整備ビジョンの策定に向けて、交通環境の改善や駅周辺の活性化など、枚方市の玄関口にふさわしい活力ある駅前の構築について考える。

第1部 基調講演 『変化の時代のまちづくり』

第2部 パネルディスカッション テーマ：枚方市駅周辺のまちづくりの展開について





## 枚方市駅周辺再整備ビジョン

発行年月：平成 25 年 3 月

発行：枚方市

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町 2 丁目 1 番 20 号

TEL：(072) 841-1221（代表）

FAX：(072) 841-5101

E-mail：toshisui@city.hirakata.osaka.jp

都市整備部 都市整備推進室